

# 福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査

## 報 告 書

令和2年11月

愛知県福祉局福祉部障害福祉課  
名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の趣旨・目的

福祉施設に入所している方のニーズやその方を取り巻く状況の把握を通じて、地域生活への移行に関する課題の整理や今後の取組施策の検討、さらには、今年度策定する第6期障害福祉計画における成果目標の設定の際の参考資料とするため。

## (2) 実施主体

愛知県、名古屋市

## (3) 調査対象

令和2年3月1日現在、県内の障害者支援施設(73施設のうち、対象外施設を除く70施設)に入所している方のうち、県内市町村で支給決定を受けている方(3,780人)

※ 対象外施設

公立施設(名古屋市あけぼの学園、名古屋市総合リハビリテーションセンター)及び米山寮盲児部

## (4) 調査基準日等

調査基準日: 令和2年3月1日

調査期間: 令和2年3月～4月(提出期限: 令和2年5月20日)

## (5) 調査内容

調査区分	調査内容
1. 基本属性	問1 性別 問2 入所時の年齢 問3 現在の年齢 問4 支給決定市町村名 問5 入所期間(入所年月日) 問6 主な障害種別 問7 障害支援区分 問8 成年後見制度の利用状況 問9 平成30年度に実施したニーズ調査(追加調査)との関係
2. 地域移行に関する状況	問10 記入者の職種 問11 ご本人に対する地域移行に向けた取組 問12 ご家族に対する地域移行に向けた取組 問13 地域移行の可能性 問14 (問13関係)地域移行が困難な理由 問15 (問14関係)地域移行に当たり不足しているサービスや支援 問16 地域移行に当たり特に調整を要する事項(課題)
3. ご家族等の意向	問17 地域移行に関するご家族の意向
4. ご本人のニーズ等	問18 聴き取り者の職種 問19 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否 問20 地域移行に向けた取組の経験 問21 ご本人が希望する暮らし 問22 (問21関係)今いる施設で生活したい理由 問23 (問21関係)希望する暮らしの具体的な種類 問24 (問21関係)希望する暮らしの具体的な地域 問25 (問21関係)希望する暮らしがわからない理由

## (6) 調査方法

対象施設(70か所)に対し調査票等をメールで送付の上、施設職員等が入所者一人一人の状況について回答を行った。なお、「ご本人のニーズ等」については、施設職員等がご本人に聴き取りの上行うこととしたが、施設職員の負担を勘案し、ご本人の意思表示を読み取ることが可能な場合のみ、回答を求めた。

## (7) 調査票回収状況

100%(ただし、任意調査のため、設問によっては未回答あり。)

## 2. 調査の結果

### 1. 基本属性 …職員回答

#### 問1 性別

この方の性別は？（1つだけ選択）

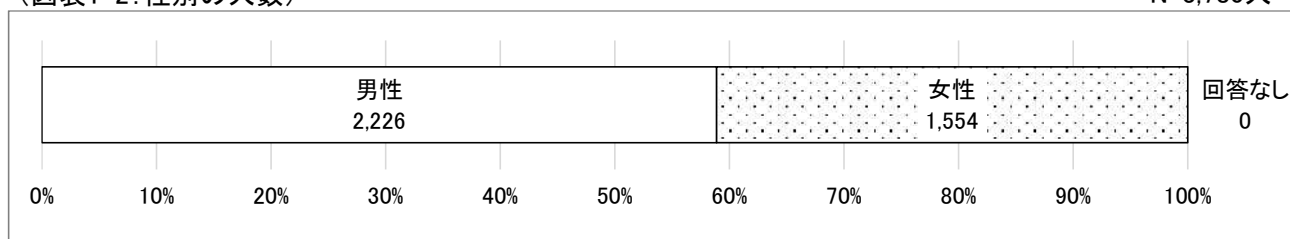
入所者の性別は、「男性」(2,226人、58.9%)が「女性」(1,554人、41.1%)より多くなっています。

(図表1-1:性別の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
男性	2,226	58.9%	57.9%
女性	1,554	41.1%	42.1%
回答なし	0	0.0%	0.0%
合計	3,780	100.0%	100.0%

(図表1-2:性別の人数)

N=3,780人



## 問2 入所時の年齢

この方の入所時の年齢は？

入所時の年齢は、「20歳～29歳」(995人、26.3%)が最も多く、次いで「30歳～39歳」(795人、21.0%)となっており、全体の半数以上が39歳以下(2,168人、57.4%)で入所しています。

入所時の平均年齢は37.1歳で、平成29年3月に実施した前回調査時の38.2歳より1.1歳下回っています。

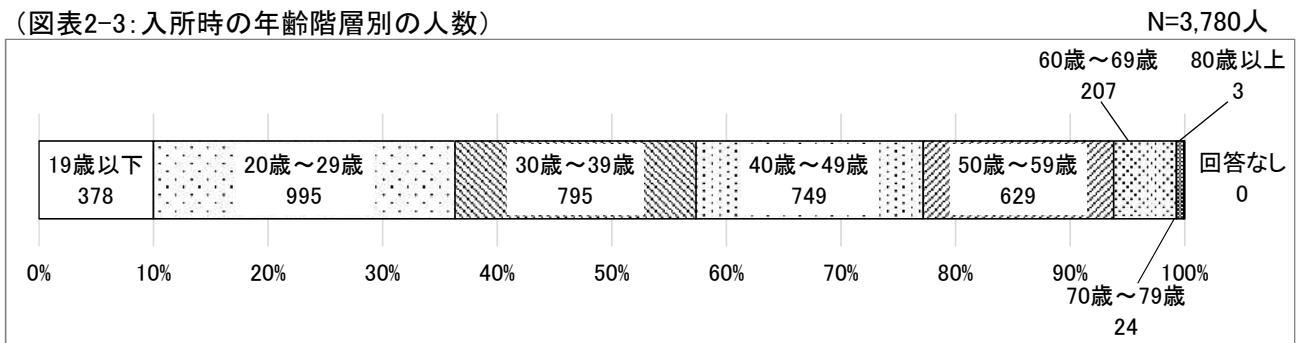
(図表2-1: 入所時の年齢階層別の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
19歳以下	378	10.0%	9.7%
20歳～29歳	995	26.3%	24.0%
30歳～39歳	795	21.0%	20.4%
40歳～49歳	749	19.8%	20.7%
50歳～59歳	629	16.6%	17.9%
60歳～69歳	207	5.5%	6.6%
70歳～79歳	24	0.6%	0.7%
80歳以上	3	0.1%	0.1%
回答なし	0	0.0%	0.1%
合計	3,780	100.0%	100.0%

(図表2-2: 入所時の平均年齢)

区分	年齢	前回調査の年齢
平均年齢	37.1	38.2

(図表2-3: 入所時の年齢階層別の人数)



### 問3 現在の年齢

この方の令和2年3月1日現在の年齢は？

現在の年齢は、「40歳～49歳」(1,038人、27.5%)が最も多く、次いで「50歳～59歳」(1,029人、27.2%)、「60歳～69歳」(756人、20.0%)となっています。全体の3分の1近くが60歳以上(1,210人、32.0%)となっています。現在の平均年齢は53.4歳で、平成29年3月に実施した前回調査時の51.6歳より1.8歳上回っています。

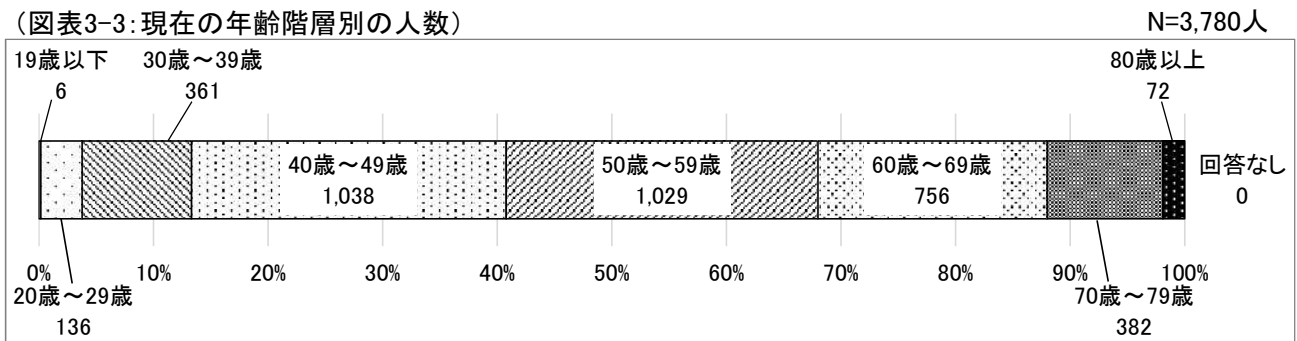
(図表3-1:現在の年齢階層別の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
19歳以下	6	0.2%	0.8%
20歳～29歳	136	3.6%	5.5%
30歳～39歳	361	9.6%	12.2%
40歳～49歳	1,038	27.5%	28.5%
50歳～59歳	1,029	27.2%	22.9%
60歳～69歳	756	20.0%	19.8%
70歳～79歳	382	10.1%	9.1%
80歳以上	72	1.9%	1.3%
回答なし	0	0.0%	0.0%
合計	3,780	100.0%	100.0%

(図表3-2:現在の平均年齢)

区分	年齢	前回調査の年齢
平均年齢	53.4	51.6

(図表3-3:現在の年齢階層別の人数)



問4 支給決定市町村名

この方の支給決定市町村名は？

支給決定市町村を障害保健福祉圏域別に集計すると、「名古屋・尾張中部圏域」(1,072人、28.4%)が最も多く、次いで「東三河南部圏域」(557人、14.7%)、「尾張北部圏域」(455人、12.0%)となっています。

また、障害保健福祉圏域別に人口に占める支給決定者数の割合を見ると、東三河地方の障害保健福祉圏域においては、他の圏域に比べて高い傾向が見られます。

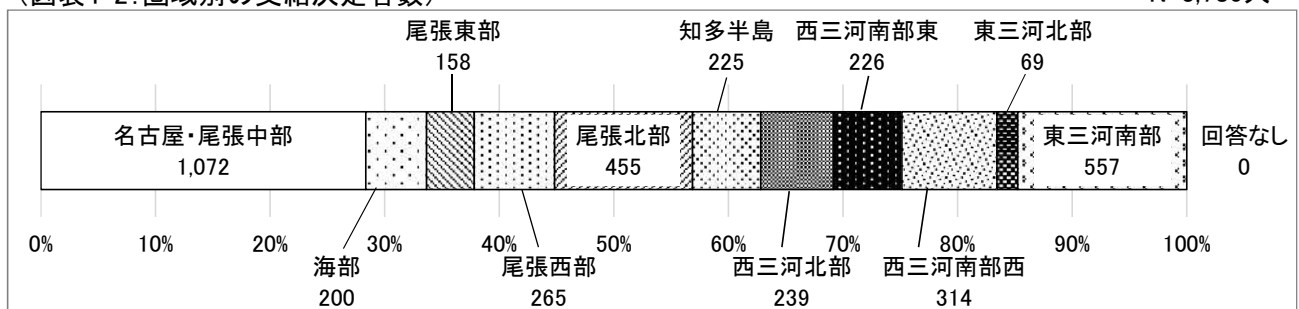
(図表4-1: 圏域別の支給決定者数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の人数	増減	人口(※)	人口1万人当たり
名古屋・尾張中部	1,072	28.4%	1,120	△ 48	2,499,014	4.3
名古屋市	985	26.1%	1,028	△ 43	2,327,440	4.2
尾張中部	87	2.3%	92	△ 5	171,574	5.1
海部	200	5.3%	204	△ 4	327,872	6.1
尾張東部	158	4.2%	163	△ 5	477,285	3.3
尾張西部	265	7.0%	289	△ 24	514,891	5.1
尾張北部	455	12.0%	428	27	732,607	6.2
知多半島	225	6.0%	231	△ 6	626,060	3.6
西三河北部	239	6.3%	233	6	487,229	4.9
西三河南部東	226	6.0%	222	4	429,036	5.3
西三河南部西	314	8.3%	327	△ 13	705,512	4.5
東三河北部	69	1.8%	77	△ 8	52,843	13.1
東三河南部	557	14.7%	565	△ 8	697,073	8.0
回答なし	0	0.0%	0	0	0	-
合計	3,780	100.0%	3,859	△ 79	7,549,422	5.0

※ 「市町村別年齢別人口推計(令和2年3月1日現在)」(愛知県)

(図表4-2: 圏域別の支給決定者数)

N=3,780人



(図表4-3:市町村別の支給決定者数と割合)

市町村名	障害福祉圏域名	人数	割合	前回調査の人数	増減
名古屋市	名古屋・尾張中部	985	26.1%	1,028	△ 43
豊橋市	東三河南部	242	6.4%	246	△ 4
岡崎市	西三河南部東	209	5.5%	202	7
一宮市	尾張西部	194	5.1%	210	△ 16
瀬戸市	尾張東部	65	1.7%	65	0
半田市	知多半島	44	1.2%	41	3
春日井市	尾張北部	188	5.0%	168	20
豊川市	東三河南部	154	4.1%	162	△ 8
津島市	海部	56	1.5%	50	6
碧南市	西三河南部西	33	0.9%	36	△ 3
刈谷市	西三河南部西	76	2.0%	77	△ 1
豊田市	西三河北部	224	5.9%	219	5
安城市	西三河南部西	81	2.1%	87	△ 6
西尾市	西三河南部西	86	2.3%	84	2
蒲郡市	東三河南部	81	2.1%	72	9
犬山市	尾張北部	63	1.7%	61	2
常滑市	知多半島	19	0.5%	22	△ 3
江南市	尾張北部	82	2.2%	90	△ 8
小牧市	尾張北部	66	1.7%	58	8
稲沢市	尾張西部	71	1.9%	79	△ 8
新城市	東三河北部	46	1.2%	49	△ 3
東海市	知多半島	38	1.0%	41	△ 3
大府市	知多半島	20	0.5%	23	△ 3
知多市	知多半島	35	0.9%	32	3
知立市	西三河南部西	23	0.6%	24	△ 1
尾張旭市	尾張東部	25	0.7%	26	△ 1
高浜市	西三河南部西	15	0.4%	19	△ 4
岩倉市	尾張北部	17	0.4%	19	△ 2
豊明市	尾張東部	27	0.7%	31	△ 4
日進市	尾張東部	20	0.5%	18	2
田原市	東三河南部	80	2.1%	85	△ 5
愛西市	海部	52	1.4%	58	△ 6
清須市	名古屋・尾張中部	31	0.8%	28	3
北名古屋市	名古屋・尾張中部	48	1.3%	53	△ 5
弥富市	海部	22	0.6%	21	1
みよし市	西三河北部	15	0.4%	14	1
あま市	海部	47	1.2%	48	△ 1
長久手市	尾張東部	11	0.3%	13	△ 2
東郷町	尾張東部	10	0.3%	10	0
豊山町	名古屋・尾張中部	8	0.2%	11	△ 3
大口町	尾張北部	15	0.4%	13	2
扶桑町	尾張北部	24	0.6%	19	5
大治町	海部	8	0.2%	9	△ 1
蟹江町	海部	9	0.2%	12	△ 3
飛鳥村	海部	6	0.2%	6	0
阿久比町	知多半島	13	0.3%	16	△ 3
東浦町	知多半島	25	0.7%	26	△ 1
南知多町	知多半島	10	0.3%	9	1
美浜町	知多半島	10	0.3%	10	0
武豊町	知多半島	11	0.3%	11	0
幸田町	西三河南部東	17	0.4%	20	△ 3
設楽町	東三河北部	11	0.3%	15	△ 4
東栄町	東三河北部	10	0.3%	11	△ 1
豊根村	東三河北部	2	0.1%	2	0
回答なし		0	0.0%	0	0
合計		3,780	100.0%	3,859	△ 79

問5 入所期間(入所年月日)

この方の入所年月日は？

入所年月日から入所期間を算出すると、「20年以上」(1,371人、36.3%)が最も多く、次いで「10年以上20年未満」(1,235人、32.7%)、「5年以上10年未満」(542人、14.3%)となっており、10年以上入所している方(2,606人、68.9%)が全体の7割近くを占めています。

平均入所期間は16.5年で、平成29年3月に実施した前回調査時の15.1年より1.4年長くなっています。

(図表5-1: 入所期間別の人数と割合)

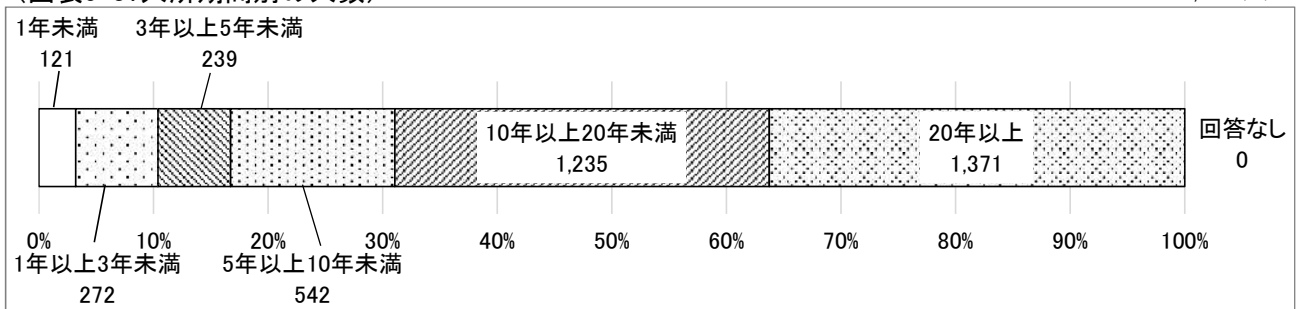
区分	人数	割合	前回調査の割合
1年未満	121	3.2%	4.3%
1年以上3年未満	272	7.2%	7.3%
3年以上5年未満	239	6.3%	6.0%
5年以上10年未満	542	14.3%	16.8%
10年以上20年未満	1,235	32.7%	43.5%
20年以上	1,371	36.3%	22.1%
回答なし	0	0.0%	0.1%
合計	3,780	100.0%	100.0%

(図表5-2: 平均入所期間)

区分	期間	前回調査の期間
平均入所期間	16.5	15.1

(図表5-3: 入所期間別の人数)

N=3,780人





問6 主な障害種別

この方の主な障害種別は？（最大2つ選択）

主な障害種別は、「知的障害」のみを選択した方(1,989人、52.6%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「身体障害(肢体不自由)」のみを選択した方(607人、16.1%)、「身体障害(肢体不自由)」と「知的障害」を選択した方(586人、15.5%)となっています。

また、障害種別ごとの選択割合は、「知的障害」(2,955人、78.2%)が最も多く全体の8割近くを占め、次いで「身体障害(肢体不自由)」(1,322人、35.0%)となっています。

(図表6: 主な障害種別ごとの人数と割合)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数	607	16	10	38	586	47		18	1,322
		割合	16.1%	0.4%	0.3%	1.0%	15.5%	1.2%		0.5%	35.0%
	視覚障害	人数	16	23	4		53	1			97
		割合	0.4%	0.6%	0.1%		1.4%	0.0%			2.6%
	聴覚障害	人数	10	4	4		46				64
		割合	0.3%	0.1%	0.1%		1.2%				1.7%
	その他	人数	38			7	41	2			88
		割合	1.0%			0.2%	1.1%	0.1%			2.3%
知的障害		人数	586	53	46	41	1,989	42	186	12	2,955
		割合	15.5%	1.4%	1.2%	1.1%	52.6%	1.1%	4.9%	0.3%	78.2%
精神障害		人数	47	1		2	42	20			112
		割合	1.2%	0.0%		0.1%	1.1%	0.5%			3.0%
発達障害		人数					186		26		212
		割合					4.9%		0.7%		5.6%
難病		人数	18				12			2	32
		割合	0.5%				0.3%			0.1%	0.8%
回答なし		人数									0
		割合									0.0%
合計		人数	1,322	97	64	88	2,955	112	212	32	3,780
		割合	35.0%	2.6%	1.7%	2.3%	78.2%	3.0%	5.6%	0.8%	100.0%

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、    部分は、再掲となっています。

## 問7 障害支援区分

この方の障害支援区分は？

障害支援区分は、「障害支援区分6」(2,154人、57.0%)が最も多く全体の6割近くを占め、次いで「障害支援区分5」(1,023人、27.1%)となっており、障害支援区分5以上(3,177人、84.0%)が全体の8割を超えています。平成29年3月に実施した前回調査時と比べると、「障害支援区分6」の割合が増え、障害支援区分5以下の割合が減っています。

年齢階層別にみると、年齢が上がるにつれて「障害支援区分6」の割合が少なくなり、70歳を超えると再び多くなっています。また、入所期間が長いほど、「障害支援区分6」の割合が多い傾向があります。

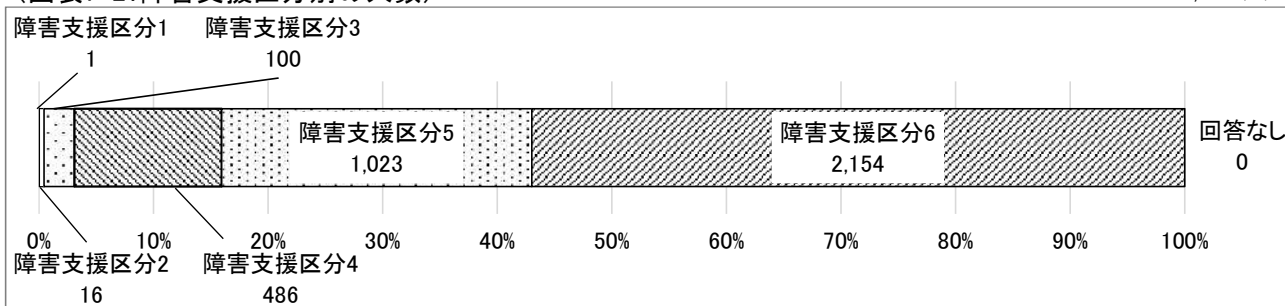
障害種別ごとにみると、「身体障害(肢体不自由)」を選択した方や障害種別を2つ選択した方(重複障害)は、「障害支援区分6」の割合が多い傾向があります。

(図表7-1: 障害支援区分別の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
障害支援区分1	1	0.0%	0.1%
障害支援区分2	16	0.4%	0.6%
障害支援区分3	100	2.6%	3.2%
障害支援区分4	486	12.9%	14.6%
障害支援区分5	1,023	27.1%	27.7%
障害支援区分6	2,154	57.0%	53.8%
回答なし	0	0.0%	0.0%
合計	3,780	100.0%	100.0%

(図表7-2: 障害支援区分別の人数)

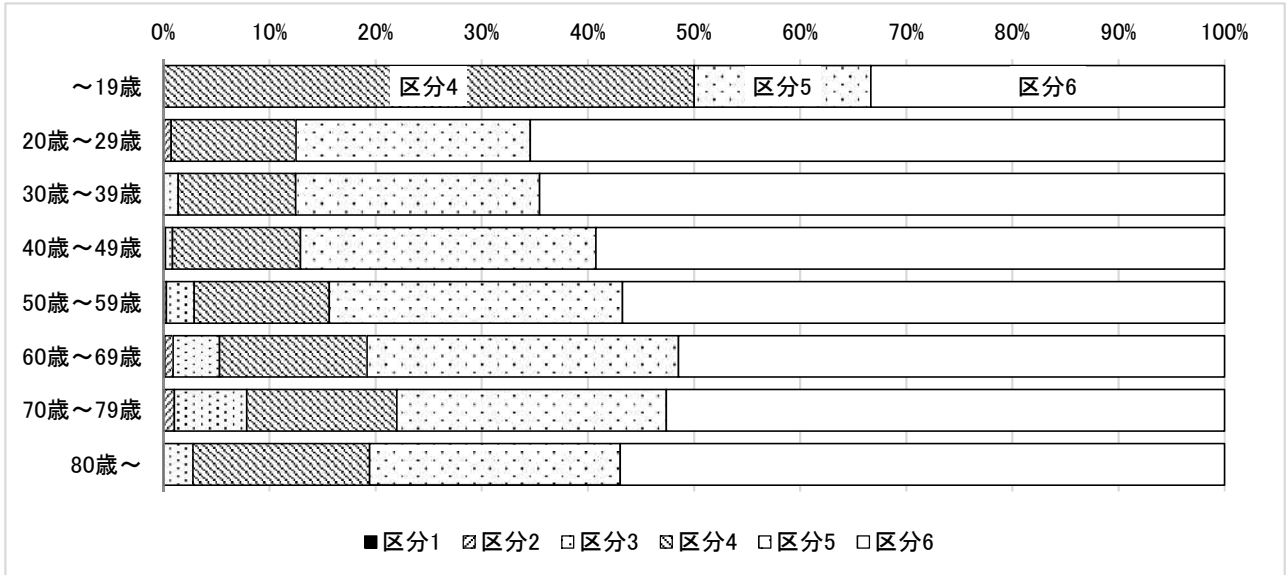
N=3,780人



(図表7-3:現在の年齢【問3】×障害支援区分の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
～19歳	人数				3	1	2	6
	割合				0.1%	0.0%	0.1%	0.2%
20歳～29歳	人数		1		16	30	89	136
	割合		0.0%		0.4%	0.8%	2.4%	3.6%
30歳～39歳	人数			5	40	83	233	361
	割合			0.1%	1.1%	2.2%	6.2%	9.6%
40歳～49歳	人数		2	7	125	289	615	1,038
	割合		0.1%	0.2%	3.3%	7.6%	16.3%	27.5%
50歳～59歳	人数		3	27	131	284	584	1,029
	割合		0.1%	0.7%	3.5%	7.5%	15.4%	27.2%
60歳～69歳	人数	1	6	33	105	222	389	756
	割合	0.0%	0.2%	0.9%	2.8%	5.9%	10.3%	20.0%
70歳～79歳	人数		4	26	54	97	201	382
	割合		0.1%	0.7%	1.4%	2.6%	5.3%	10.1%
80歳～	人数			2	12	17	41	72
	割合			0.1%	0.3%	0.4%	1.1%	1.9%
合計	人数	1	16	100	486	1,023	2,154	3,780
	割合	0.0%	0.4%	2.6%	12.9%	27.1%	57.0%	100.0%

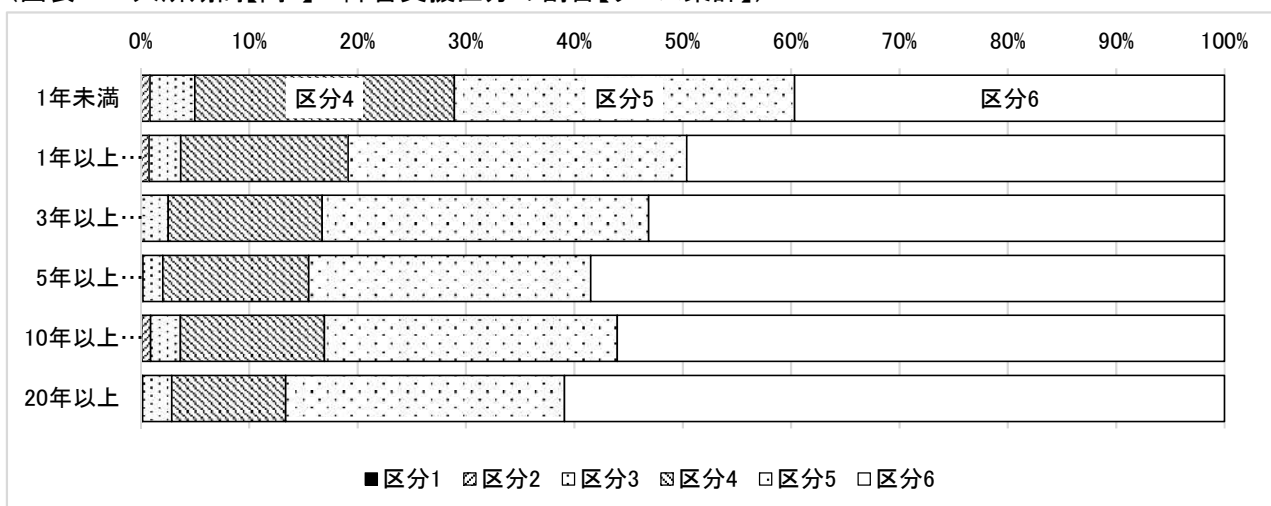
(図表7-4:現在の年齢【問3】×障害支援区分の割合【クロス集計】)



(図表7-5:入所期間【問5】×障害支援区分の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
1年未満	人数		1	5	29	38	48	121
	割合		0.0%	0.1%	0.8%	1.0%	1.3%	3.2%
1年以上 3年未満	人数		2	8	42	85	135	272
	割合		0.1%	0.2%	1.1%	2.2%	3.6%	7.2%
3年以上 5年未満	人数			6	34	72	127	239
	割合			0.2%	0.9%	1.9%	3.4%	6.3%
5年以上 10年未満	人数		1	10	73	141	317	542
	割合		0.0%	0.3%	1.9%	3.7%	8.4%	14.3%
10年以上 20年未満	人数	1	10	34	164	334	692	1,235
	割合	0.0%	0.3%	0.9%	4.3%	8.8%	18.3%	32.7%
20年以上	人数		2	37	144	353	835	1,371
	割合		0.1%	1.0%	3.8%	9.3%	22.1%	36.3%
回答なし	人数							0
	割合							0.0%
合計	人数	1	16	100	486	1,023	2,154	3,780
	割合	0.0%	0.4%	2.6%	12.9%	27.1%	57.0%	100.0%

(図表7-6:入所期間【問5】×障害支援区分の割合【クロス集計】)



(図表7-7: 主な障害種別【問6】×「障害支援区分6」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数	405	11	2	27	450	34		12	941
		割合	66.7%	68.8%	20.0%	71.1%	76.8%	72.3%		66.7%	71.2%
	視覚障害	人数	11	6	3		36				56
		割合	68.8%	26.1%	75.0%		67.9%				57.7%
	聴覚障害	人数	2	3			21				26
		割合	20.0%	75.0%			45.7%				40.6%
	その他	人数	27			2	30	1			60
		割合	71.1%			28.6%	73.2%	50.0%			68.2%
知的障害		人数	450	36	21	30	955	10	122	10	1,634
		割合	76.8%	67.9%	45.7%	73.2%	48.0%	23.8%	65.6%	83.3%	55.3%
精神障害		人数	34			1	10	5			50
		割合	72.3%			50.0%	23.8%	25.0%			44.6%
発達障害		人数					122		11		133
		割合					65.6%		42.3%		62.7%
難病		人数	12				10			1	23
		割合	66.7%				83.3%			50.0%	71.9%
回答なし		人数									0
		割合									-
合計		人数	941	56	26	60	1,634	50	133	23	2,154
		割合	71.2%	57.7%	40.6%	68.2%	55.3%	44.6%	62.7%	71.9%	-

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、    部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表7-8: 主な障害種別【問6】×障害支援区分の人数と割合【クロス集計】)

○ 障害種別を1つだけ選択した方

N=3,780人

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
身体障害	肢体不自由	人数	8	28	41	125	405	607
		割合	1.3%	4.6%	6.8%	20.6%	66.7%	100.0%
	視覚障害	人数	1	5	10	1	6	23
		割合	4.3%	21.7%	43.5%	4.3%	26.1%	100.0%
	聴覚障害	人数		1	1	2		4
		割合		25.0%	25.0%	50.0%		100.0%
	その他	人数			2	3	2	7
		割合			28.6%	42.9%	28.6%	100.0%
知的障害	人数	1	5	46	333	649	955	1,989
	割合	0.1%	0.3%	2.3%	16.7%	32.6%	48.0%	100.0%
精神障害	人数			2	5	8	5	20
	割合			10.0%	25.0%	40.0%	25.0%	100.0%
発達障害	人数				5	10	11	26
	割合				19.2%	38.5%	42.3%	100.0%
難病	人数					1	1	2
	割合					50.0%	50.0%	100.0%
合計	人数	1	14	82	397	799	1,385	2,678
	割合	0.0%	0.5%	3.1%	14.8%	29.8%	51.7%	100.0%

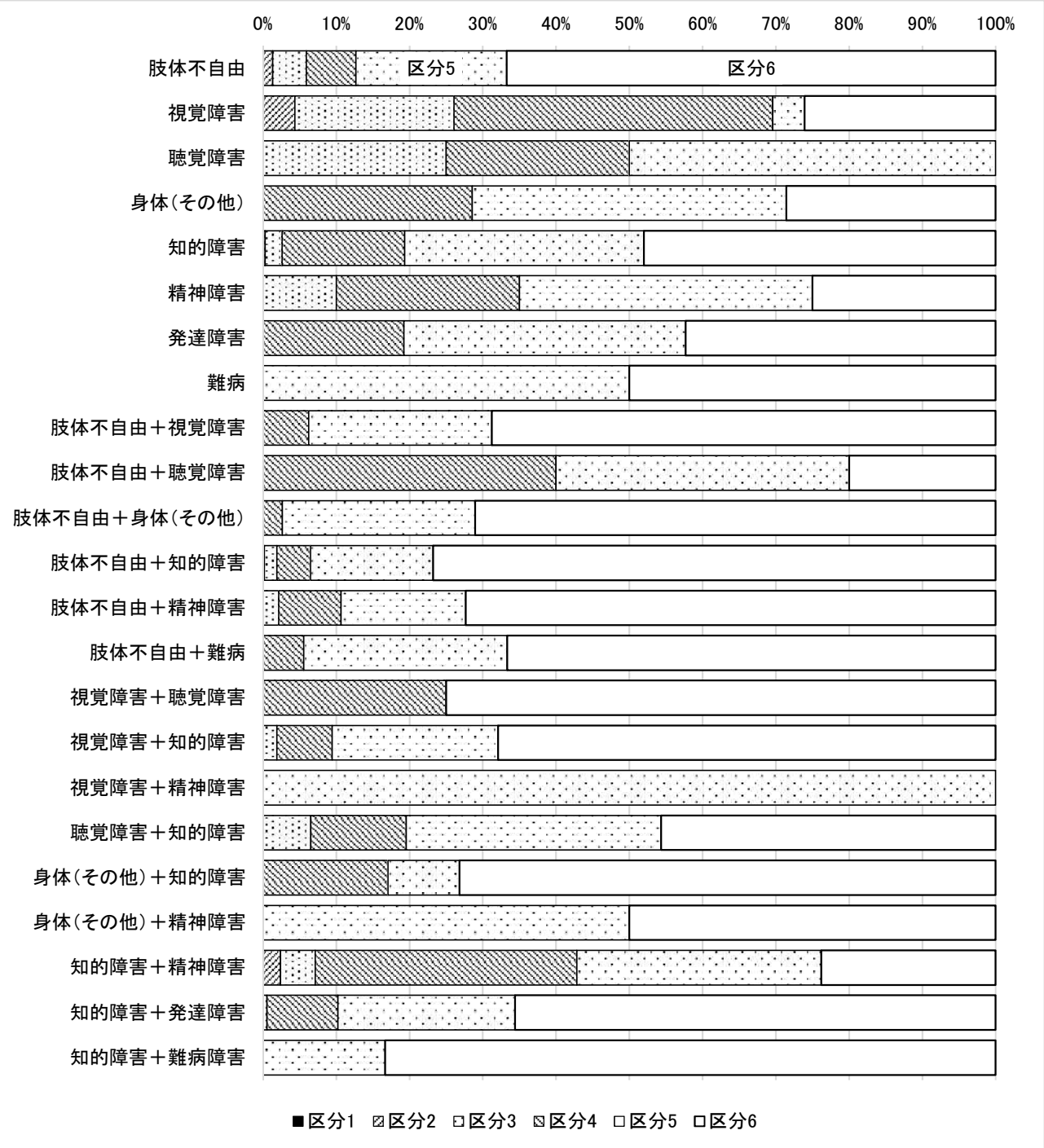
○ 障害種別を2つ選択した方(重複障害)

N=3,780人

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
肢体不自由 +視覚障害	人数				1	4	11	16
	割合				6.3%	25.0%	68.8%	100.0%
肢体不自由 +聴覚障害	人数				4	4	2	10
	割合				40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
肢体不自由 +身体(その他)	人数				1	10	27	38
	割合				2.6%	26.3%	71.1%	100.0%
肢体不自由 +知的障害	人数		1	10	27	98	450	586
	割合		0.2%	1.7%	4.6%	16.7%	76.8%	100.0%
肢体不自由 +精神障害	人数			1	4	8	34	47
	割合			2.1%	8.5%	17.0%	72.3%	100.0%
肢体不自由 +難病	人数				1	5	12	18
	割合				5.6%	27.8%	66.7%	100.0%
視覚障害 +聴覚障害	人数				1		3	4
	割合				25.0%		75.0%	100.0%
視覚障害 +知的障害	人数			1	4	12	36	53
	割合			1.9%	7.5%	22.6%	67.9%	100.0%
視覚障害 +精神障害	人数					1		1
	割合					100.0%		100.0%
聴覚障害 +知的障害	人数			3	6	16	21	46
	割合			6.5%	13.0%	34.8%	45.7%	100.0%
身体(その他) +知的障害	人数				7	4	30	41
	割合				17.1%	9.8%	73.2%	100.0%
身体(その他) +精神障害	人数					1	1	2
	割合					50.0%	50.0%	100.0%
知的障害 +精神障害	人数		1	2	15	14	10	42
	割合		2.4%	4.8%	35.7%	33.3%	23.8%	100.0%
知的障害 +発達障害	人数			1	18	45	122	186
	割合			0.5%	9.7%	24.2%	65.6%	100.0%
知的障害 +難病障害	人数					2	10	12
	割合					16.7%	83.3%	100.0%
合計	人数	0	2	18	89	224	769	1,102
	割合	0.0%	0.2%	1.6%	8.1%	20.3%	69.8%	100.0%

※ 割合は、各区分の人数(計)に占める割合です。

(図表7-8: 主な障害種別【問6】×障害支援区分の割合【クロス集計】)



## 問8 成年後見制度の利用状況

この方は、成年後見制度を利用していますか。（1つだけ選択）

成年後見制度は、利用していない方(2,728人、72.2%)が全体の7割を超え、利用している方(963人、25.5%)を大きく上回っています。

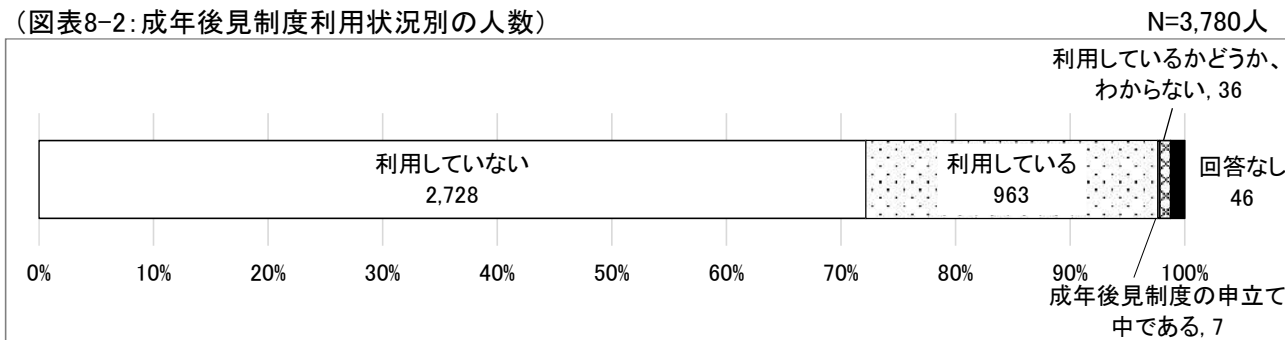
利用している方の主な障害種別(複数選択)をみると、「知的障害」を選択した方(856人、「成年後見」を利用している方全体の94.0%)が最も多く、利用している方の9割以上を占めています。また、「発達障害」を選択した方は、「成年後見」の利用割合が多くなっています。

利用している方の障害支援区分をみると、「障害支援区分6」(573人、成年後見制度利用者全体の59.5%)が最も多く、利用している方全体の6割近くを占め、次いで「障害支援区分5」(267人、成年後見制度利用者全体の27.7%)となっています。

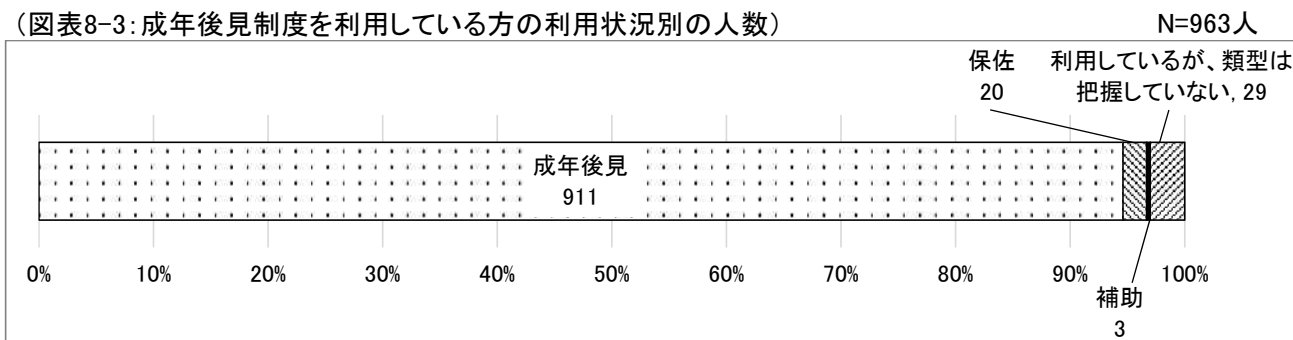
(図表8-1: 成年後見制度利用状況別の人数と割合)

区分	人数	割合
利用していない	2,728	72.2%
利用している	963	25.5%
成年後見	911	24.1%
保佐	20	0.5%
補助	3	0.1%
利用しているが、類型は把握していない	29	0.8%
成年後見制度の申立て中である	7	0.2%
利用しているかどうか、わからない	36	1.0%
回答なし	46	1.2%
合計	3,780	100.0%

(図表8-2: 成年後見制度利用状況別の人数)



(図表8-3: 成年後見制度を利用している方の利用状況別の人数)





(図表8-4: 主な障害種別【問6】×「利用している(成年後見)」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数	32	4	1	2	124	10			173
		割合	5.3%	25.0%	10.0%	5.3%	21.2%	21.3%			13.1%
	視覚障害	人数	4	1	1		8				14
		割合	25.0%	4.3%	25.0%		15.1%				14.4%
	聴覚障害	人数	1	1			16				18
		割合	10.0%	25.0%			34.8%				28.1%
	その他	人数	2				18				20
		割合	5.3%				43.9%				22.7%
知的障害	人数	124	8	16	18	585	15	89	1	856	
	割合	21.2%	15.1%	34.8%	43.9%	29.4%	35.7%	47.8%	8.3%	29.0%	
精神障害	人数	10				15				25	
	割合	21.3%				35.7%				22.3%	
発達障害	人数					89		4		93	
	割合					47.8%		15.4%		43.9%	
難病	人数					1				1	
	割合					8.3%				3.1%	
回答なし	人数									0	
	割合									-	
合計	人数	173	14	18	20	856	25	93	1	0	911
	割合	13.1%	14.4%	28.1%	22.7%	29.0%	22.3%	43.9%	3.1%	-	24.1%

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、    部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表8-5: 障害支援区分【問7】×成年後見制度を利用している方の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
成年後見	人数		1	13	96	254	547	911
	割合		0.1%	1.3%	10.0%	26.4%	56.8%	94.6%
保佐	人数		1	4	3	9	3	20
	割合		0.1%	0.4%	0.3%	0.9%	0.3%	2.1%
補助	人数					1	2	3
	割合					0.1%	0.2%	0.3%
利用しているが、 類型は把握していない	人数				5	3	21	29
	割合				0.5%	0.3%	2.2%	3.0%
合計	人数	0	2	17	104	267	573	963
	割合	0.0%	0.2%	1.8%	10.8%	27.7%	59.5%	100.0%

問9 平成30年度に実施したニーズ調査(追加調査)との関係

この方は、平成30年8月に実施したニーズ調査(追加調査)の対象者でしたか。(1つだけ選択)

平成29年3月に実施した前回調査において、地域生活への移行を希望する旨の回答をされた方(177人)を対象に、平成30年8月に追加調査を実施しました。

追加調査は、調査対象者の意向を改めて確認し、個別に地域移行の取組を進めていくために実施したもので、追加調査対象者ご本人の承諾が得られた場合は、氏名等の個人情報を提供していただきました。その後、県から支給決定市町村に個人情報を提供し、各市町村において個別に地域移行への取組を進めていただくこととしました。

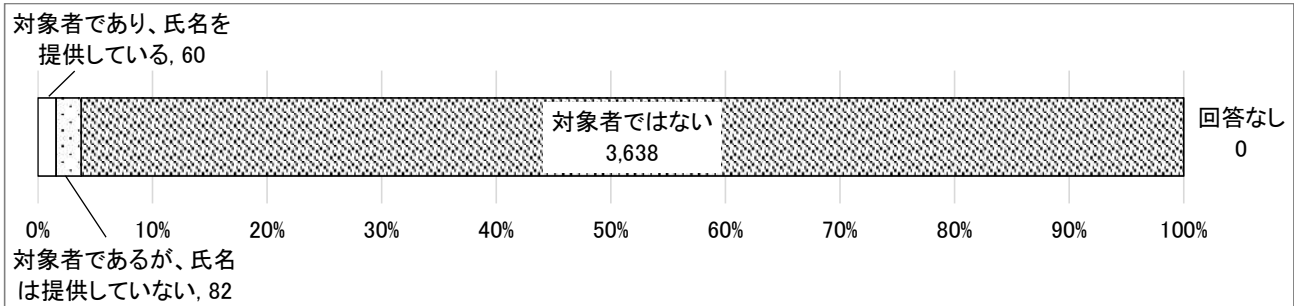
追加調査では74名の方に個人情報を提供していただきましたが、今回の調査では、そのうち60名の方が今回の調査の時点で施設に入所していました。

(図表9-1: ニーズ調査(追加調査)対象者の人数と割合)

区分	人数	割合
対象者であり、氏名を提供している	60	1.6%
対象者であるが、氏名は提供していない	82	2.2%
対象者ではない	3,638	96.2%
回答なし	0	0.0%
合計	3,780	100.0%

(図表9-2: ニーズ調査(追加調査)対象者の人数)

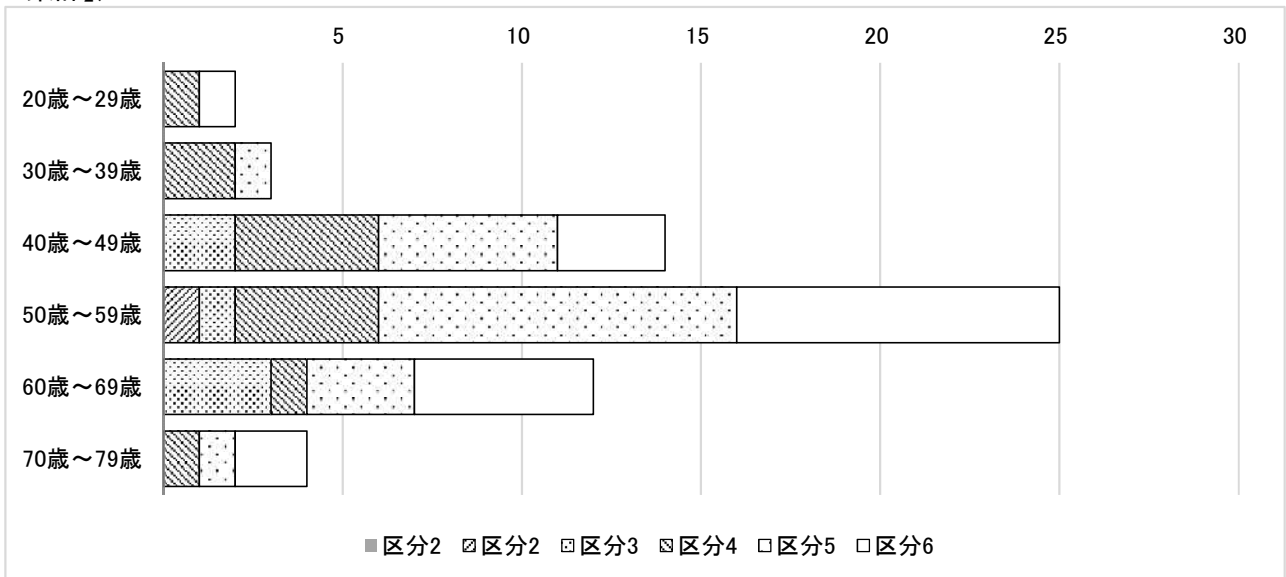
N=3,780人



(図表9-3:現在の年齢【問3】×障害支援区分【問7】×「対象者であり、氏名を提供している」の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
～19歳	人数							0
	割合							0.0%
20歳～29歳	人数				1		1	2
	割合				1.7%		1.7%	3.3%
30歳～39歳	人数				2	1		3
	割合				3.3%	1.7%		5.0%
40歳～49歳	人数			2	4	5	3	14
	割合			3.3%	6.7%	8.3%	5.0%	23.3%
50歳～59歳	人数		1	1	4	10	9	25
	割合		1.7%	1.7%	6.7%	16.7%	15.0%	41.7%
60歳～69歳	人数			3	1	3	5	12
	割合			5.0%	1.7%	5.0%	8.3%	20.0%
70歳～79歳	人数				1	1	2	4
	割合				1.7%	1.7%	3.3%	6.7%
80歳～	人数							0
	割合							0.0%
合計	人数	0	1	6	13	20	20	60
	割合	0.0%	1.7%	10.0%	21.7%	33.3%	33.3%	100.0%

(図表9-4:現在の年齢【問3】×障害支援区分の割合×「対象者であり、氏名を提供している」の人数【クロス集計】)



(図表9-5: 主な障害種別【問6】×「対象者であり、氏名を提供している」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数	10		1	2	11			1	25
		割合	1.6%		10.0%	5.3%	1.9%			5.6%	1.9%
	視覚障害	人数									0
		割合									0.0%
	聴覚障害	人数	1								1
		割合	10.0%								1.6%
	その他	人数	2								2
		割合	5.3%								2.3%
知的障害	人数	11				30	2	1		44	
	割合	1.9%				1.5%	4.8%	0.5%		1.5%	
精神障害	人数					2	1			3	
	割合					4.8%	5.0%			2.7%	
発達障害	人数					1		1		2	
	割合					0.5%		3.8%		0.9%	
難病	人数	1								1	
	割合	5.6%								3.1%	
回答なし	人数									0	
	割合									-	
合計	人数	25	0	1	2	44	3	2	1	0	60
	割合	1.9%	0.0%	1.6%	2.3%	1.5%	2.7%	0.9%	3.1%	-	1.6%

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、    部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

## 2. 地域移行に関する状況 …職員回答

### 問10 記入者の職種

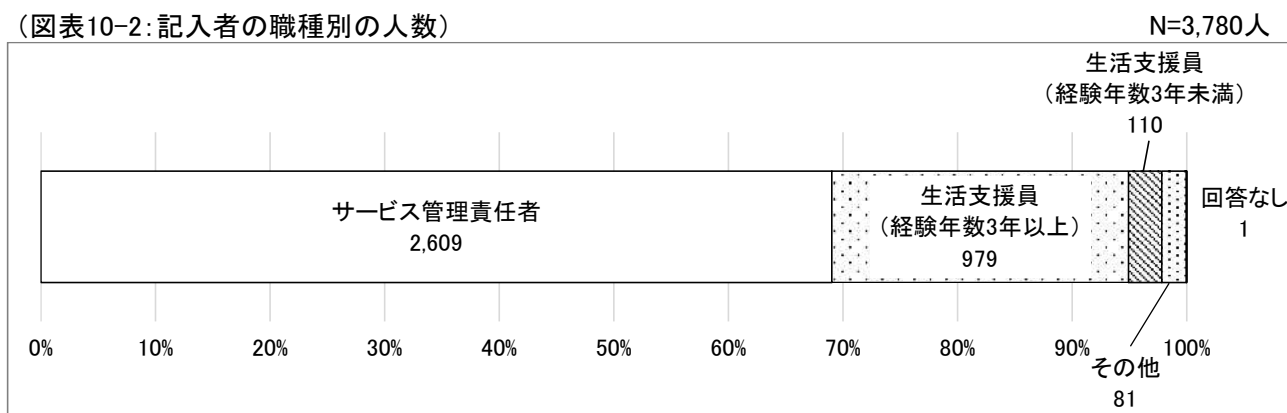
この調査票を記入していただいている方の職種等は？（1つだけ選択）

この調査票の記入者（ご本人聴き取り項目を除く。）の職種等は、「サービス管理責任者」（2,609人、69.0%）が最も多く全体の7割近くを占め、次いで「生活支援員（経験年数3年以上）」（979人、25.9%）となっています。

（図表10-1：記入者の職種別の人数と割合）

区分	人数	割合
サービス管理責任者	2,609	69.0%
生活支援員（経験年数3年以上）	979	25.9%
生活支援員（経験年数3年未満）	110	2.9%
その他	81	2.1%
回答なし	1	0.0%
合計	3,780	100.0%

（図表10-2：記入者の職種別の人数）



問11 ご本人に対する地域移行に向けた取組

この方に対して、施設が行っている地域生活への移行に向けた取組は？（最大3つ選択）

施設でご本人に対して行っている地域移行に向けた取組は、「特に何もしていない」(2,015人、53.3%)が全体の半数以上を占め、取組をしている方(1,764人、46.7%)を上回っています。

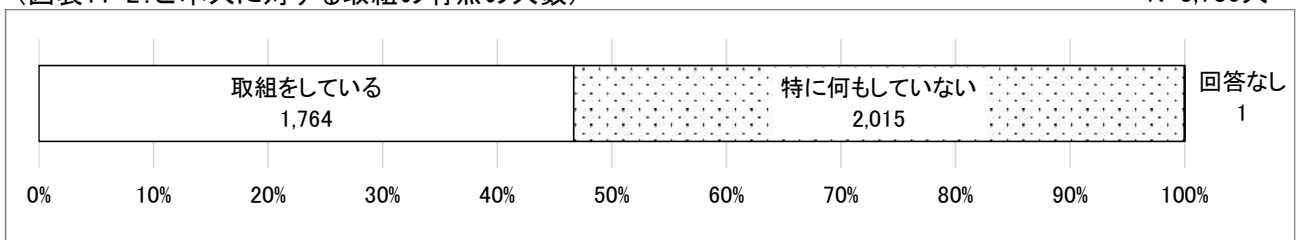
取組の内容は、「地域生活移行に関するご本人のニーズの定期的な確認」(883人、取組をしている方全体の50.1%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「地域生活に関する情報提供(DVD、写真など)」(558人、取組をしている方全体の31.6%)となっています。

(図表11-1:ご本人に対する取組の有無の人数と割合)

区分	人数	割合
取組をしている	1,764	46.7%
特に何もしていない	2,015	53.3%
回答なし	1	0.0%
合計	3,780	100.0%

(図表11-2:ご本人に対する取組の有無の人数)

N=3,780人



(図表11-3:ご本人に対する取組別の人数と割合【複数回答】)

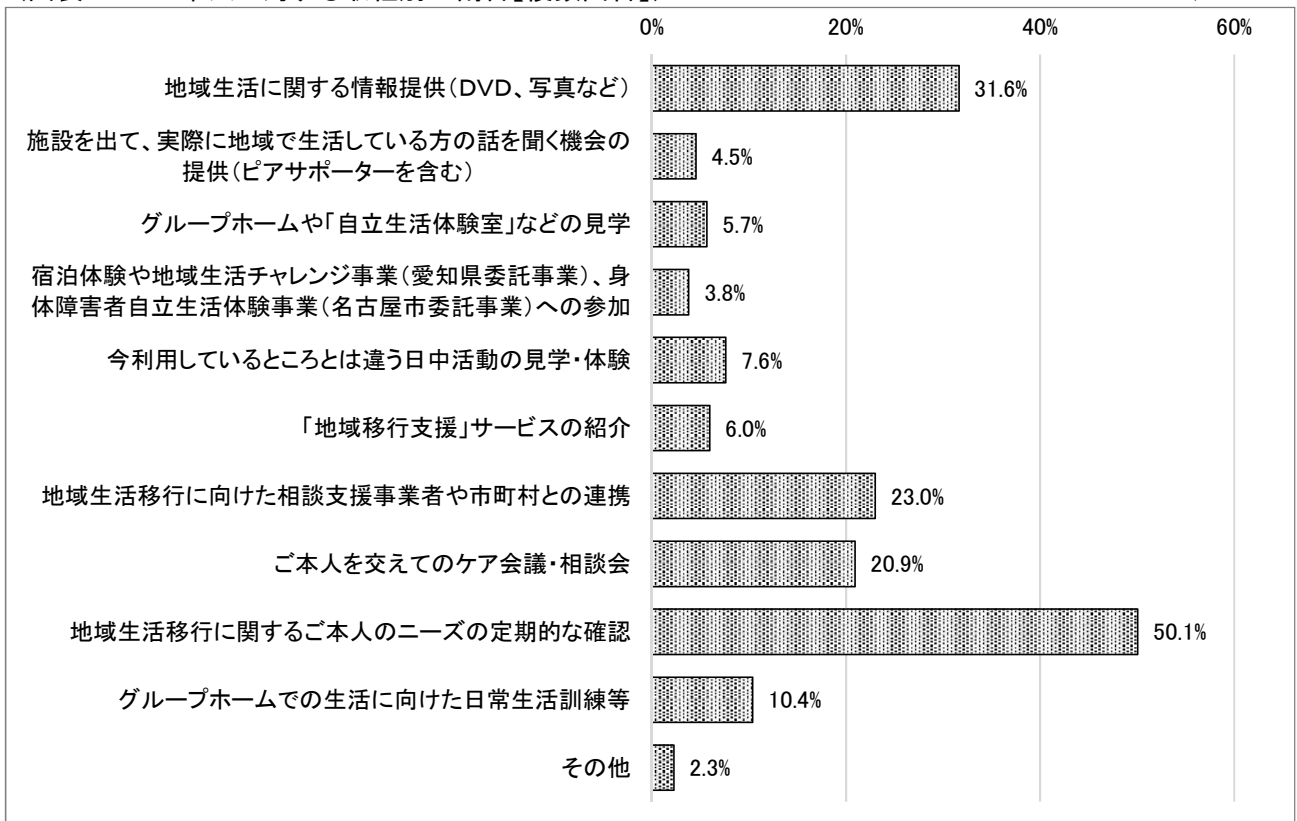
N=1,764人

区分	人数	割合
地域生活に関する情報提供(DVD、写真など)	558	31.6%
施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞く機会の提供(ピアサポーターを含む)	80	4.5%
グループホームや「自立生活体験室」などの見学	100	5.7%
宿泊体験や地域生活チャレンジ事業(愛知県委託事業)、身体障害者自立生活体験事業(名古屋市委託事業)への参加	67	3.8%
今利用しているところとは違う日中活動の見学・体験	134	7.6%
「地域移行支援」サービスの紹介	105	6.0%
地域生活移行に向けた相談支援事業者や市町村との連携	406	23.0%
ご本人を交えてのケア会議・相談会	369	20.9%
地域生活移行に関するご本人のニーズの定期的な確認	883	50.1%
グループホームでの生活に向けた日常生活訓練等	183	10.4%
その他	40	2.3%
合計	2,925	165.8%

※ 割合は、取組をしている方に対する割合です。

(図表11-4:ご本人に対する取組別の割合【複数回答】)

N=1,764人



※ 割合は、取組をしている方に対する割合です。

問12 ご家族に対する地域移行に向けた取組

この方のご家族に対して、施設が行っている地域生活への移行に向けた取組は？(最大3つ選択)

施設でご家族に対して行っている地域移行に向けた取組は、「特に何もしていない」(2,153人、57.0%)が全体の半数以上を占め、取組をしている方(1,580人、41.8%)を上回っています。

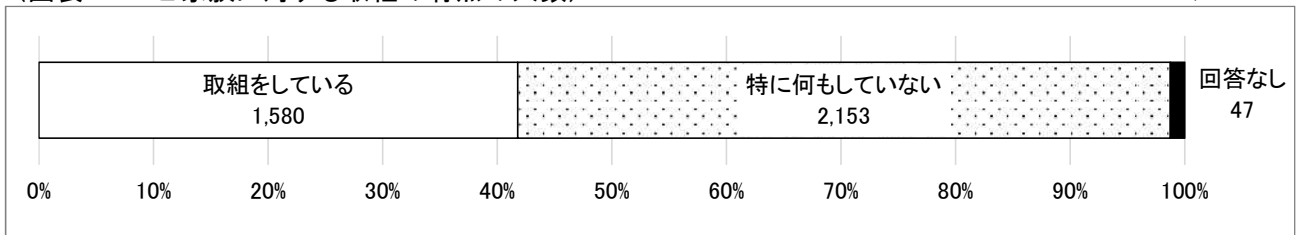
取組の内容は、「成年後見制度の紹介」(827人、取組をしている方全体の38.4%)が最も多く、次いで「ご家族を交えてのケア会議・相談会」(709人、取組をしている方全体の32.9%)となっています。

(図表12-1:ご家族に対する取組の有無の人数と割合)

区分	人数	割合
取組をしている	1,580	41.8%
特に何もしていない	2,153	57.0%
回答なし	47	1.2%
合計	3,780	100.0%

(図表12-2:ご家族に対する取組の有無の人数)

N=3,780人





(図表12-3:ご家族に対する取組別の人数と割合【複数回答】)

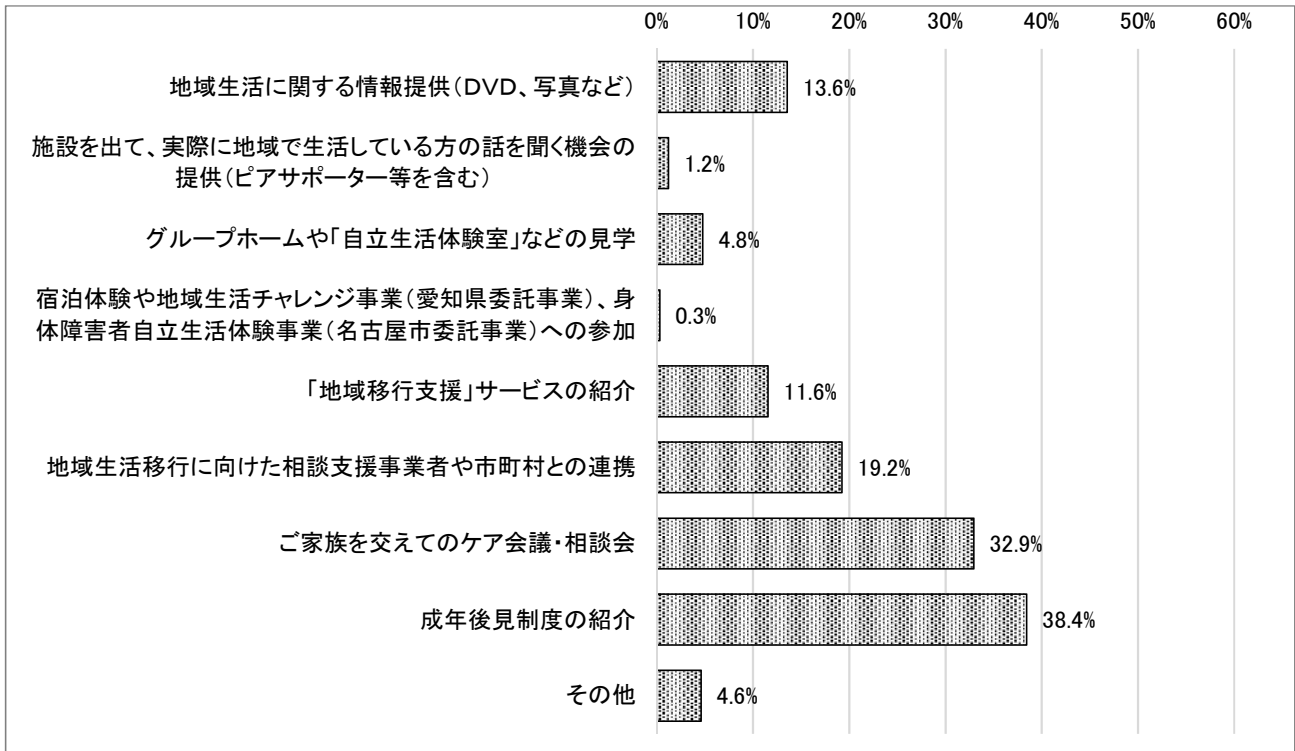
N=2,153人

区分	人数	割合
地域生活に関する情報提供(DVD、写真など)	292	13.6%
施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞く機会の提供(ピアサポーター等を含む)	26	1.2%
グループホームや「自立生活体験室」などの見学	103	4.8%
宿泊体験や地域生活チャレンジ事業(愛知県委託事業)、身体障害者自立生活体験事業(名古屋市委託事業)への参加	7	0.3%
「地域移行支援」サービスの紹介	249	11.6%
地域生活移行に向けた相談支援事業者や市町村との連携	414	19.2%
ご家族を交えてのケア会議・相談会	709	32.9%
成年後見制度の紹介	827	38.4%
その他	99	4.6%
合計	2,726	126.6%

※ 割合は、取組をしている方に対する割合です。

(図表12-4:ご家族に対する取組別の割合【複数回答】)

N=2,153人



問13 地域移行の可能性

この方は、現在の地域における障害福祉サービスの利用により、地域生活へ移行することが可能と考えられますか？  
 (1つだけ選択)

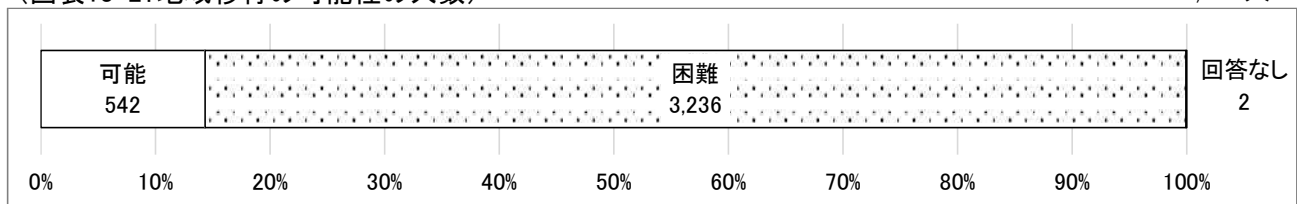
施設職員(記入者)から見た、この方の現在の地域における障害福祉サービスの利用による地域生活への移行の可能性は、「困難」(3,236人、85.6%)が全体の8割を超え、「可能」(542人、14.3%)を大きく上回っています。  
 年齢階層別にみると、年齢による差は特にみられません。  
 障害種別ごとにみると、「精神障害」を選択した方は、「可能」な方の割合が多くなっています。

(図表13-1:地域移行の可能性の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
可能	542	14.3%	12.5%
困難	3,236	85.6%	63.0%
回答なし	2	0.1%	24.4%
合計	3,780	100.0%	100.0%

(図表13-2:地域移行の可能性の人数)

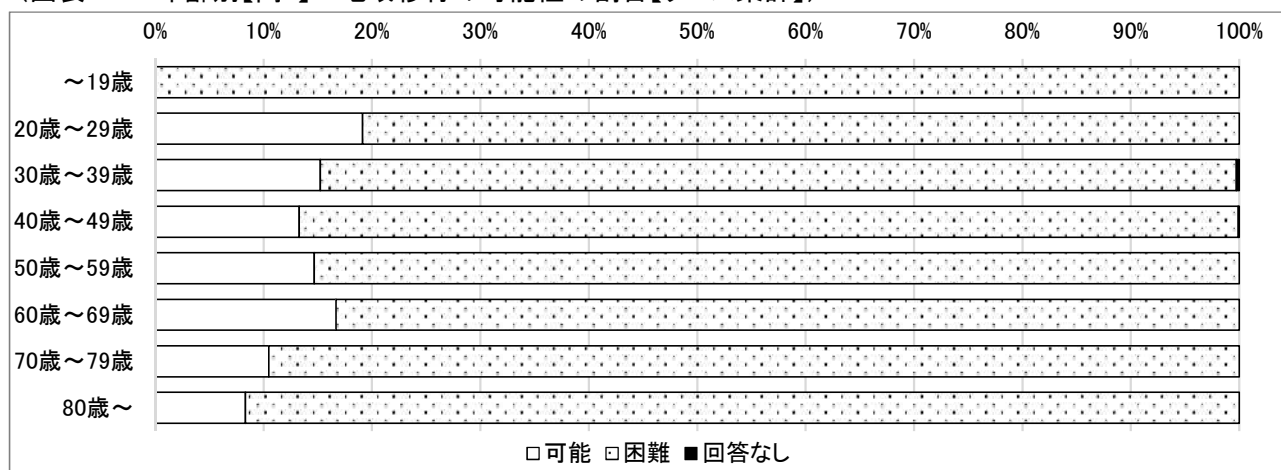
N=3,780人



(図表13-3: 年齢別【問3】× 地域移行の可能性の人数と割合【クロス集計】)

区分		可能	困難	回答なし	計
～19歳	人数		6		6
	割合		0.2%		0.2%
20歳～29歳	人数	26	110		136
	割合	0.7%	2.9%		3.6%
30歳～39歳	人数	55	305	1	361
	割合	1.5%	8.1%	0.0%	9.6%
40歳～49歳	人数	138	899	1	1,038
	割合	3.7%	23.8%	0.0%	27.5%
50歳～59歳	人数	151	878		1,029
	割合	4.0%	23.2%		27.2%
60歳～69歳	人数	126	630		756
	割合	3.3%	16.7%		20.0%
70歳～79歳	人数	40	342		382
	割合	1.1%	9.0%		10.1%
80歳～	人数	6	66		72
	割合	0.2%	1.7%		1.9%
合計	人数	542	3,236	2	3,780
	割合	14.3%	85.6%	0.1%	100.0%

(図表13-4: 年齢別【問3】× 地域移行の可能性の割合【クロス集計】)



(図表13-5: 主な障害種別【問6】× 地域移行が「可能」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数	117	2	2	60	4		2		187
		割合	19.3%	12.5%	20.0%	10.2%	8.5%		11.1%		14.1%
	視覚障害	人数	2	4		4					10
		割合	12.5%	17.4%		7.5%					10.3%
	聴覚障害	人数	2		1	6					9
		割合	20.0%		25.0%	13.0%					14.1%
	その他	人数				1	2				3
		割合				14.3%	4.9%				3.4%
知的障害		人数	60	4	6	2	286	13	24	1	396
		割合	10.2%	7.5%	13.0%	4.9%	14.4%	31.0%	12.9%	8.3%	13.4%
精神障害		人数	4			13	8				25
		割合	8.5%			31.0%	40.0%				22.3%
発達障害		人数				24		4			28
		割合				12.9%		15.4%			13.2%
難病		人数	2			1			1		4
		割合	11.1%			8.3%			50.0%		12.5%
回答なし		人数									0
		割合									-
合計		人数	187	10	9	3	396	25	28	4	542
		割合	14.1%	10.3%	14.1%	3.4%	13.4%	22.3%	13.2%	12.5%	-

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、黄色部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表13-6: 主な障害種別【問6】× 地域移行が「困難」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数	490	14	8	38	525	43		16	1,134
		割合	80.7%	87.5%	80.0%	100.0%	89.6%	91.5%		88.9%	85.8%
	視覚障害	人数	14	19	4		49	1			87
		割合	87.5%	82.6%	100.0%		92.5%	100.0%			89.7%
	聴覚障害	人数	8	4	3		40				55
		割合	80.0%	100.0%	75.0%		87.0%				85.9%
	その他	人数	38			6	39	2			85
		割合	100.0%			85.7%	95.1%	100.0%			96.6%
知的障害		人数	525	49	40	39	1,702	29	162	11	2,557
		割合	89.6%	92.5%	87.0%	95.1%	85.6%	69.0%	87.1%	91.7%	86.5%
精神障害		人数	43	1		2	29	12			87
		割合	91.5%	100.0%		100.0%	69.0%	60.0%			77.7%
発達障害		人数					162		22		184
		割合					87.1%		84.6%		86.8%
難病		人数	16				11			1	28
		割合	88.9%				91.7%			50.0%	87.5%
回答なし		人数									0
		割合									-
合計		人数	1,134	87	55	85	2,557	87	184	28	3,236
		割合	85.8%	89.7%	85.9%	96.6%	86.5%	77.7%	86.8%	87.5%	-

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、黄色部分は、再掲となっています。

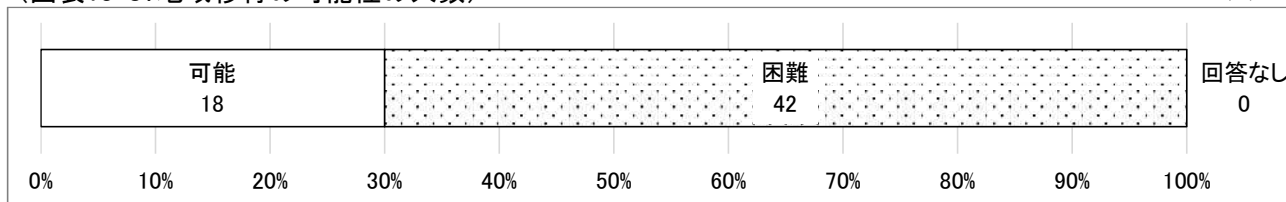
※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表13-7:平成30年度の追加調査で「対象者であり、氏名を提供している」【問9】×地域移行の可能性の人数割合【クロス集計】)

区分	人数	割合
可能	18	30.0%
困難	42	70.0%
回答なし	0	0.0%
合計	60	100.0%

(図表13-8:地域移行の可能性の人数)

N=60人



問14 (問13関係)地域移行が困難な理由

地域生活への移行が「困難」なのは、どうしてですか？（いくつでも選択）

地域生活への移行が「困難」な理由は、「現在の地域における環境（障害福祉サービスや支援の提供体制）では、現実的には難しい」（2,439人、75.4%）が最も多く全体の7割以上を占め、次いで「ご家族の強い意向」（1,572人、48.6%）となっています。

（図表14-1：地域移行が困難な理由別の人数と割合【複数回答】）

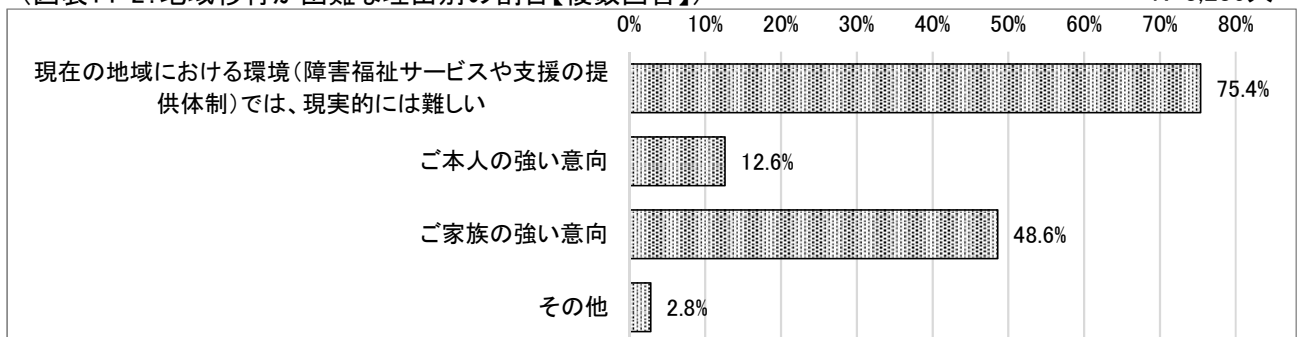
N=3,236人

区分	人数	割合	前回調査の割合
現在の地域における環境（障害福祉サービスや支援の提供体制）では、現実的には難しい	2,439	75.4%	78.1%
ご本人の強い意向	408	12.6%	21.3%
ご家族の強い意向	1,572	48.6%	52.9%
その他	92	2.8%	3.9%
合計	4,511	139.4%	152.3%

※ 割合は、「困難」【問13】に対する割合です。

（図表14-2：地域移行が困難な理由別の割合【複数回答】）

N=3,236人



（図表14-3：平成30年度の追加調査で「対象者であり、氏名を提供している」【問9】×地域移行が困難な理由別の人数と割合【複数回答】）

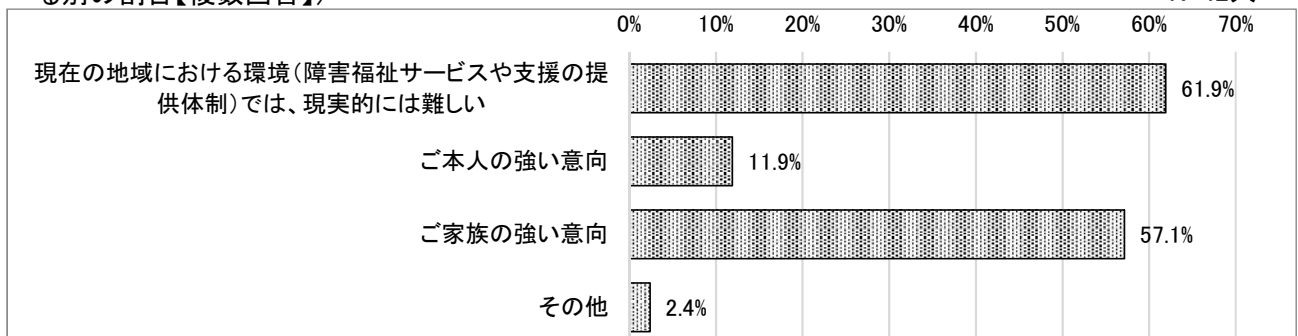
N=42人

区分	人数	割合
現在の地域における環境（障害福祉サービスや支援の提供体制）では、現実的には難しい	26	61.9%
ご本人の強い意向	5	11.9%
ご家族の強い意向	24	57.1%
その他	1	2.4%
合計	56	133.3%

※ 割合は、平成30年度の追加調査で「対象者であり、氏名を提供している」【問9】かつ「困難」【問13】に対する割合です。

（図表14-4：平成30年度の追加調査で「対象者であり、氏名を提供している」【問9】×地域移行が困難な理由別の割合【複数回答】）

N=42人



問15 (問14関係)地域移行に当たり不足しているサービスや支援

どのようなサービスや支援が充実すれば、可能となる見込みがあると思われますか？（最大3つ選択）

現在の地域における環境では地域生活への移行は現実的に難しいけれども、どのようなサービスや支援が充実すれば可能となる見込みがあるかについて、「24時間ケア(見守り)が行える体制の整備」(1,563人、64.1%)が最も多く全体の6割以上を占め、次いで「夜間支援を行うグループホームの増加」(1,062人、43.5%)、「ご本人のことを理解し、継続的にかかわる人材(寄り添う人)の確保」(896人、36.7%)となっています。

(図表15-1: 必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】)

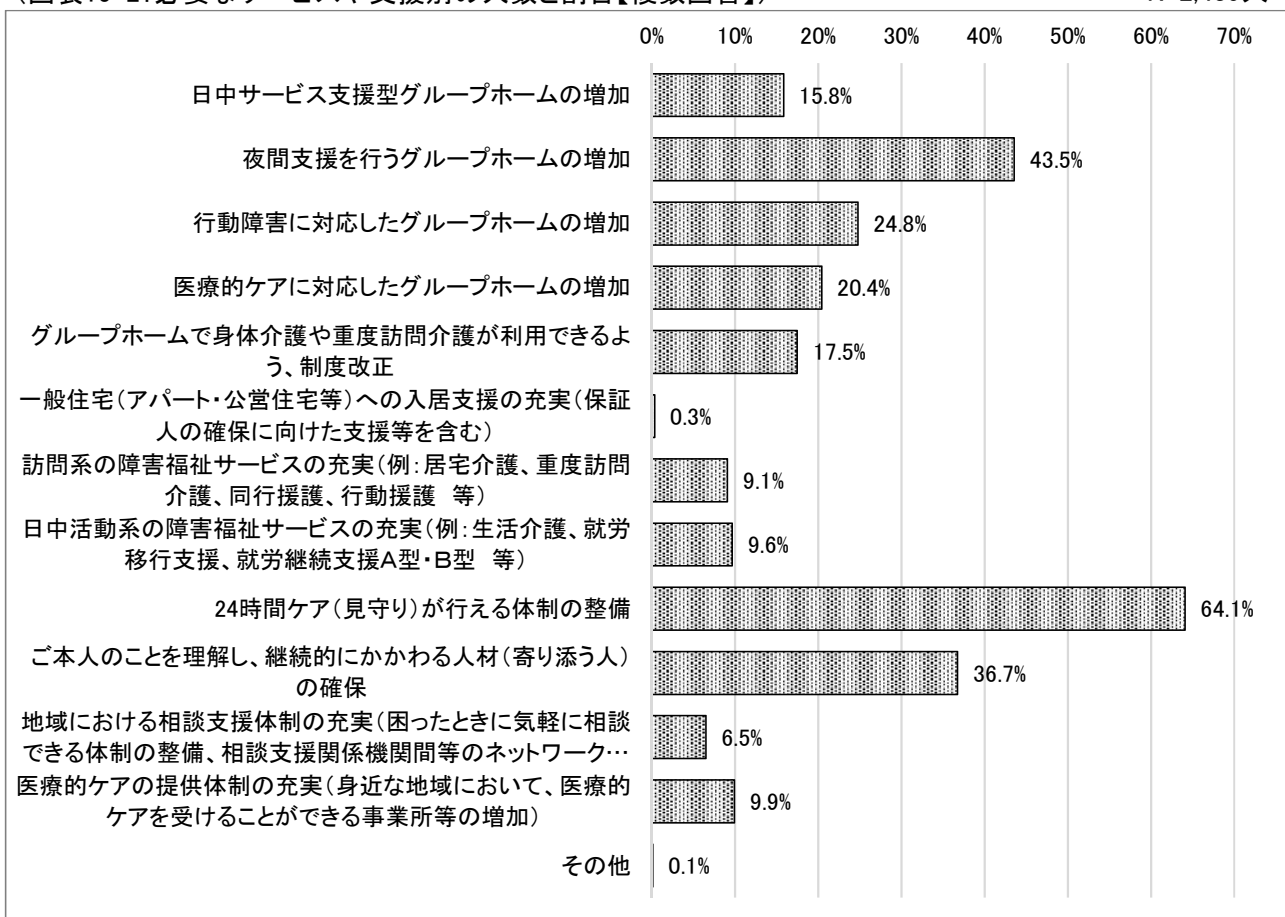
N=2,439人

区分	人数	割合
日中サービス支援型グループホームの増加	386	15.8%
夜間支援を行うグループホームの増加	1,062	43.5%
行動障害に対応したグループホームの増加	604	24.8%
医療的ケアに対応したグループホームの増加	498	20.4%
グループホームで身体介護や重度訪問介護が利用できるよう、制度改正	426	17.5%
一般住宅(アパート・公営住宅等)への入居支援の充実(保証人の確保に向けた支援等を含む)	8	0.3%
訪問系の障害福祉サービスの充実(例:居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護等)	221	9.1%
日中活動系の障害福祉サービスの充実(例:生活介護、就労移行支援、就労継続支援A型・B型等)	235	9.6%
24時間ケア(見守り)が行える体制の整備	1,563	64.1%
ご本人のことを理解し、継続的にかかわる人材(寄り添う人)の確保	896	36.7%
地域における相談支援体制の充実(困ったときに気軽に相談できる体制の整備、相談支援関係機関等のネットワークの強化)	158	6.5%
医療的ケアの提供体制の充実(身近な地域において、医療的ケアを受けることができる事業所等の増加)	242	9.9%
その他	3	0.1%
合計	6,302	258.4%

※ 割合は、「現在の地域における環境(障害福祉サービスや支援の提供体制)では、現実的には難しい」【問14】に対する割合です。

(図表15-2: 必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】)

N=2,439人



(図表15-3:平成30年度の追加調査で「対象者であり、氏名を提供している」【問9】×必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】)

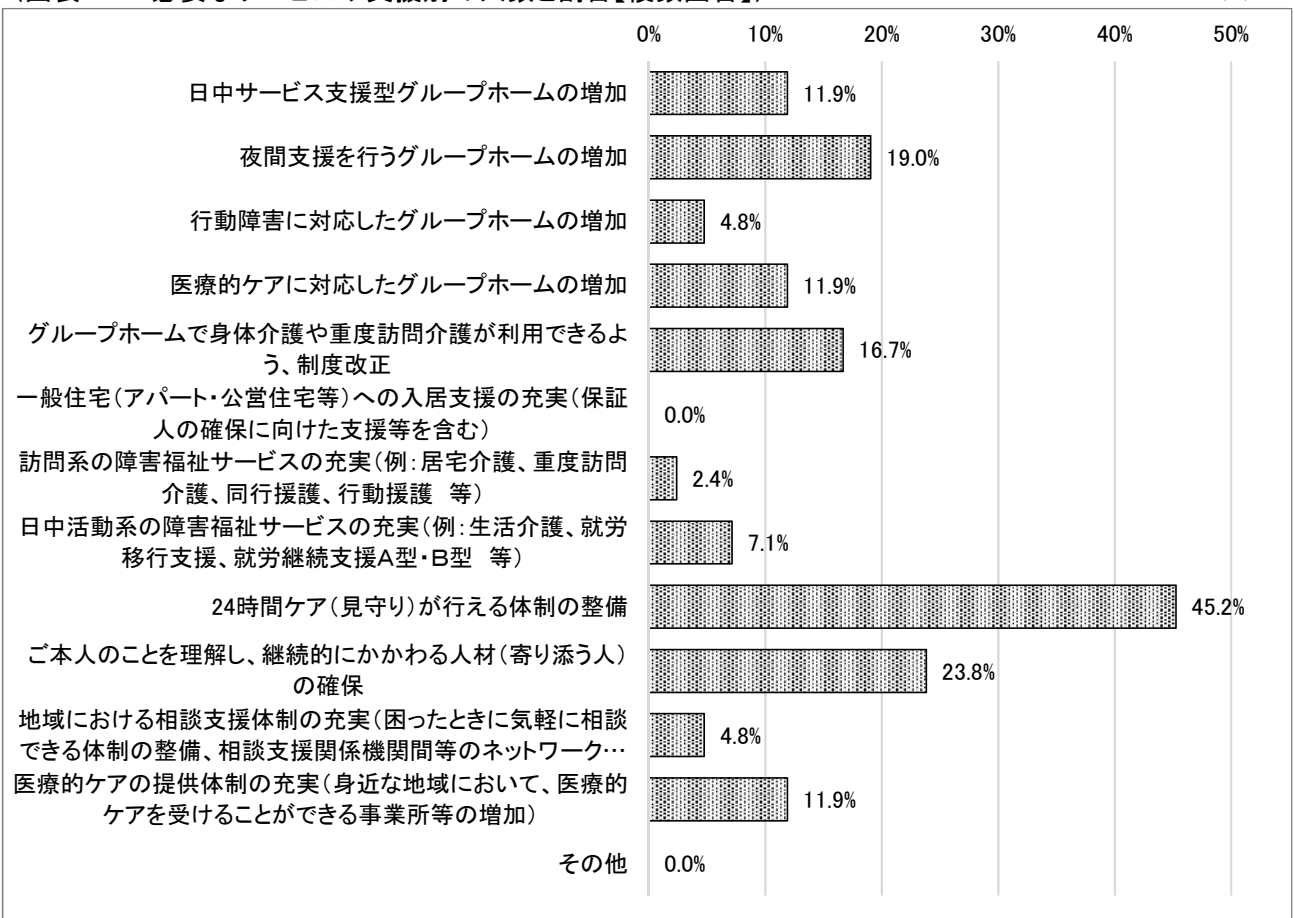
N=42人

区分	人数	割合
日中サービス支援型グループホームの増加	5	11.9%
夜間支援を行うグループホームの増加	8	19.0%
行動障害に対応したグループホームの増加	2	4.8%
医療的ケアに対応したグループホームの増加	5	11.9%
グループホームで身体介護や重度訪問介護が利用できるよう、制度改正	7	16.7%
一般住宅(アパート・公営住宅等)への入居支援の充実(保証人の確保に向けた支援等を含む)	0	0.0%
訪問系の障害福祉サービスの充実(例:居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護 等)	1	2.4%
日中活動系の障害福祉サービスの充実(例:生活介護、就労移行支援、就労継続支援A型・B型 等)	3	7.1%
24時間ケア(見守り)が行える体制の整備	19	45.2%
ご本人のことを理解し、継続的にかかわる人材(寄り添う人)の確保	10	23.8%
地域における相談支援体制の充実(困ったときに気軽に相談できる体制の整備、相談支援関係機関等のネットワークの強化)	2	4.8%
医療的ケアの提供体制の充実(身近な地域において、医療的ケアを受けることができる事業所等の増加)	5	11.9%
その他	0	0.0%
合計	67	159.5%

※ 割合は、平成30年度の追加調査で「対象者であり、氏名を提供している」【問9】かつ「困難」【問13】に対する割合です。

(図表15-4:必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】)

N=42人





問16 地域移行に当たり特に調整を要する事項(課題)

この方の地域生活への移行に向けて、特に調整を要する事項(課題)と考えられることは、次のうちどれですか？(最大3つ選択)

地域生活への移行に向けて、特に調整を要する事項(課題)は、「ご家族の理解と協力」(2,775人、73.4%)が最も多く全体の7割以上を占め、次いで「ご本人が地域生活への移行に向けた意思を持つこと」(1,994人、52.8%)となっています。

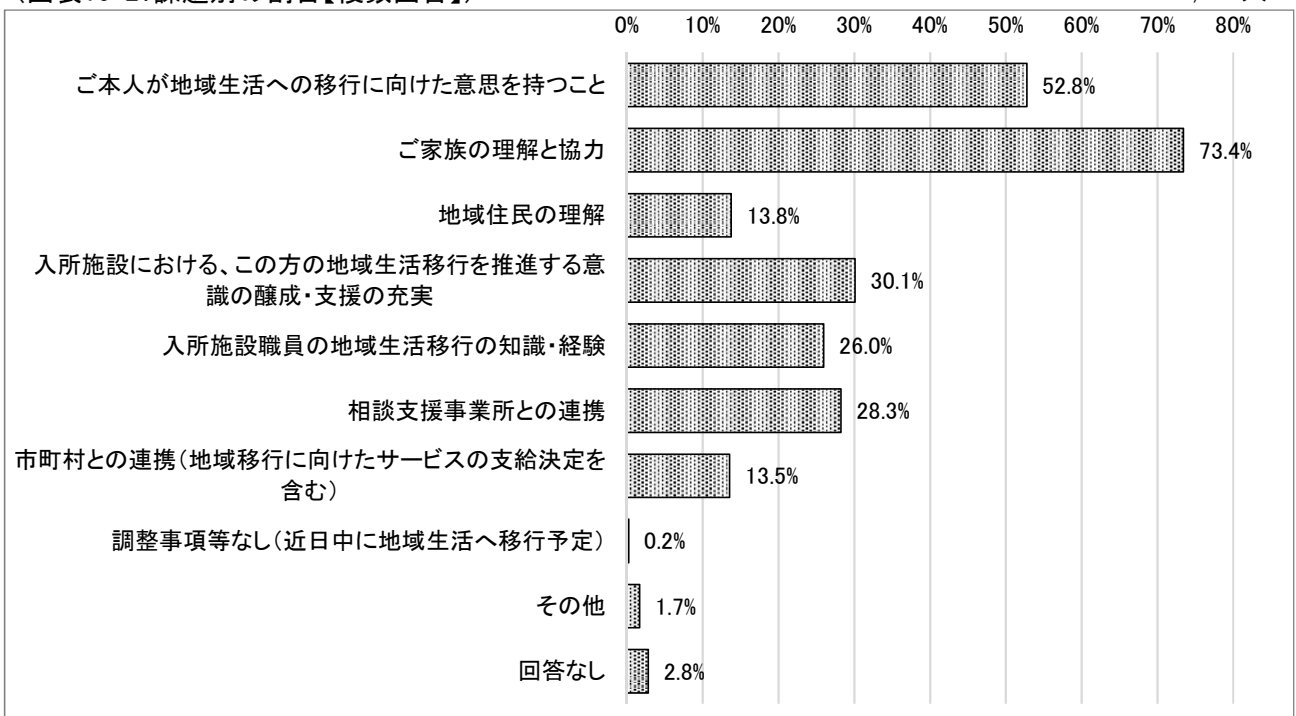
(図表16-1:課題別の人数と割合【複数回答】)

N=3,780人

区分	人数	割合
ご本人が地域生活への移行に向けた意思を持つこと	1,994	52.8%
ご家族の理解と協力	2,775	73.4%
地域住民の理解	520	13.8%
入所施設における、この方の地域生活移行を推進する意識の醸成・支援の充実	1,138	30.1%
入所施設職員の地域生活移行の知識・経験	982	26.0%
相談支援事業所との連携	1,068	28.3%
市町村との連携(地域移行に向けたサービスの支給決定を含む)	512	13.5%
調整事項等なし(近日中に地域生活へ移行予定)	9	0.2%
その他	63	1.7%
回答なし	106	2.8%
合計	9,167	242.5%

(図表16-2:課題別の割合【複数回答】)

N=3,780人



### 3. ご家族等の意向 … 家族回答

#### 問17 地域移行に関するご家族の意向

この方の地域生活への移行に関するご家族の意向は、次のうちどれですか？（1つだけ選択）

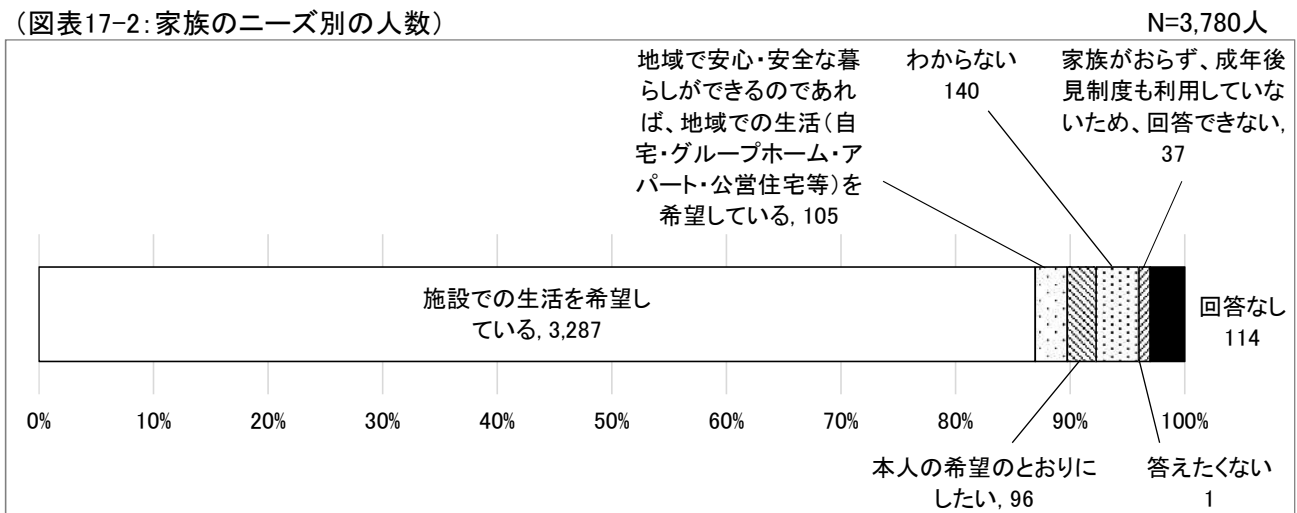
ご家族等の意向は、「施設での生活を希望している」(3,287人、87.0%)が最も多く全体の8割以上を占めており、「地域で安心・安全な暮らしができるのであれば、地域での生活(自宅・グループホーム・アパート・公営住宅等)を希望している」(105人、2.8%)と「本人の希望のとおりにしたい」(96人、2.5%)を合わせても、全体の5%程度(201人、5.3%)となっています。

また、施設職員から見て地域生活への移行が「可能」な方は、「施設での生活を希望している」の割合が少なくなっています。

(図表17-1: 家族のニーズ別の人数と割合)

区分	人数	割合
施設での生活を希望している	3,287	87.0%
地域で安心・安全な暮らしができるのであれば、地域での生活(自宅・グループホーム・アパート・公営住宅等)を希望している	105	2.8%
本人の希望のとおりにしたい	96	2.5%
わからない	140	3.7%
答えたくない	1	0.0%
家族がおらず、成年後見制度も利用していないため、回答できない	37	1.0%
回答なし	114	3.0%
合計	3,780	100.0%

(図表17-2: 家族のニーズ別の人数)



(図表17-3: 地域移行の可能性【問13】×家族のニーズ別の人数と割合【クロス集計】)

N=3,780人

区分	可能		困難		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
施設での生活を希望している	380	70.1%	2,907	89.8%	0	0.0%
地域で安心・安全な暮らしができるのであれば、地域での生活(自宅・グループホーム・アパート・公営住宅等)を希望している	39	7.2%	66	2.0%	0	0.0%
本人の希望のとおりにしたい	42	7.7%	54	1.7%	0	0.0%
わからない	69	12.7%	71	2.2%	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
家族がおらず、成年後見制度も利用していないため、回答できない	11	2.0%	26	0.8%	0	0.0%
回答なし	1	0.2%	111	3.4%	2	100.0%
合計	542	100.0%	3,236	100.0%	2	100.0%

※ 割合は、地域移行の可能性【問13】の各区分の人数に占める割合です。

#### 4. ご本人のニーズ等 … 本人回答

##### 問18 聴き取り者の職種

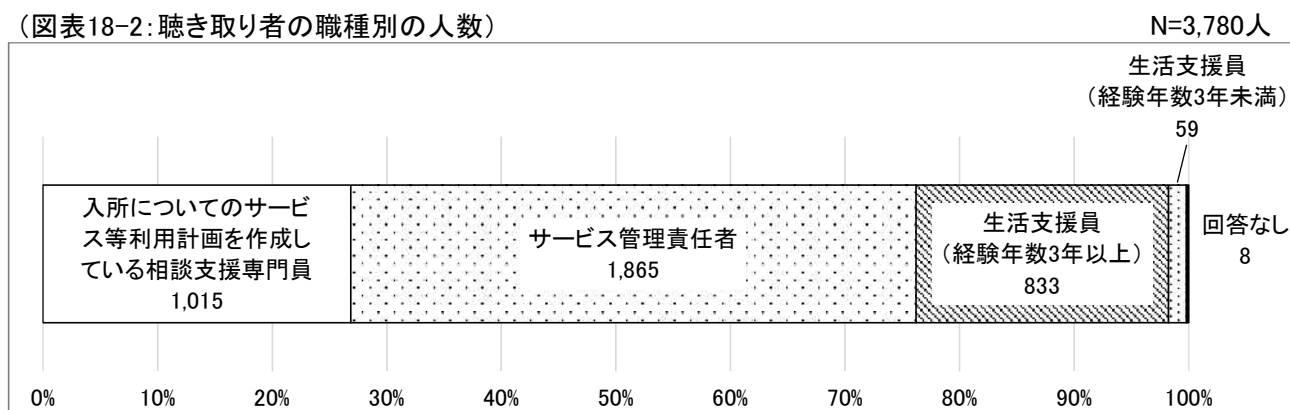
ご本人に聴き取りを行った方の職種等は？（1つだけ選択）

ご本人に聴き取りを行った方の職種等は、「サービス管理責任者」(1,865人、49.3%)が最も多く全体の半数近くを占め、次いで「入所についてのサービス等利用計画を作成している相談支援専門員」(1,015人、26.9%)となっています。

(図表18-1:聴き取り者の職種別の人数と割合)

区分	人数	割合
入所についてのサービス等利用計画を作成している相談支援専門員	1,015	26.9%
サービス管理責任者	1,865	49.3%
生活支援員(経験年数3年以上)	833	22.0%
生活支援員(経験年数3年未満)	59	1.6%
その他	0	0.0%
回答なし	8	0.2%
合計	3,780	100.0%

(図表18-2:聴き取り者の職種別の人数)



問19 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否

この方から、言語・態度・表情等による意思表示を受けて、問20以降の聴き取りを行うことができますか。(1つだけ選択)

施設職員等によるご本人の意思表示の聴き取り(読み取り)の可否は、「ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが不可能」(2,591人、68.5%)が最も多く全体の3分の2以上を占め、「ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能」(1,184人、31.3%)を大きく上回っています。

障害種別ごとにみると、「知的障害」の方は、「ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能」の割合が少なくなっています。

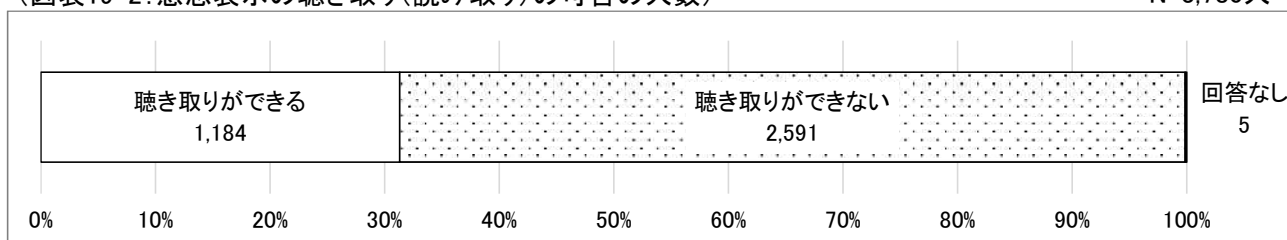
また、施設職員から見て地域生活への移行が「可能」な方は、「ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能」の割合が多くなっています。

(図表19-1: 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能 (ご本人からの意思表示を読み取って、回答することができる)	1,184	31.3%	31.6%
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが不可能 (ご本人からの意思表示を読み取ることができない)	2,591	68.5%	53.0%
回答なし	5	0.1%	15.5%
合計	3,780	100.0%	100.0%

(図表19-2: 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否の人数)

N=3,780人



(図表19-3: 主な障害種別【問6】×「ご本人からの意思表示を受けて、聞き取りが可能」の人数と割合【クロス集計】)

区分	身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数 375 割合 61.8%	人数 8 割合 50.0%	人数 7 割合 70.0%	人数 31 割合 81.6%	人数 188 割合 32.1%	人数 25 割合 53.2%	人数 13 割合 72.2%		人数 647 割合 48.9%
	視覚障害	人数 8 割合 50.0%	人数 16 割合 69.6%			人数 16 割合 30.2%	人数 1 割合 100.0%			人数 41 割合 42.3%
	聴覚障害	人数 7 割合 70.0%		人数 3 割合 75.0%		人数 5 割合 10.9%				人数 15 割合 23.4%
	その他	人数 31 割合 81.6%			人数 4 割合 57.1%	人数 5 割合 12.2%	人数 1 割合 50.0%			人数 41 割合 46.6%
知的障害	人数 188 割合 32.1%	人数 16 割合 30.2%	人数 5 割合 10.9%	人数 5 割合 12.2%	人数 424 割合 21.3%	人数 20 割合 47.6%	人数 18 割合 9.7%	人数 3 割合 25.0%		人数 679 割合 23.0%
精神障害	人数 25 割合 53.2%	人数 1 割合 100.0%		人数 1 割合 50.0%	人数 20 割合 47.6%	人数 12 割合 60.0%				人数 59 割合 52.7%
発達障害					人数 18 割合 9.7%		人数 7 割合 26.9%			人数 25 割合 11.8%
難病	人数 13 割合 72.2%				人数 3 割合 25.0%			人数 2 割合 100.0%		人数 18 割合 56.3%
回答なし										人数 0 割合 -
合計	人数 647 割合 48.9%	人数 41 割合 42.3%	人数 15 割合 23.4%	人数 41 割合 46.6%	人数 679 割合 23.0%	人数 59 割合 52.7%	人数 25 割合 11.8%	人数 18 割合 56.3%	人数 0 割合 -	人数 1,184 割合 31.3%

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、黄色部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表19-4:地域移行の可能性【問13】×意思表示の聴き取り(読み取り)の可否の人数と割合【クロス集計】)  
N=3,780人

区分	可能		困難		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能 (ご本人からの意思表示を読み取って、回答することができる)	367	67.7%	817	25.2%	0	0.0%
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが不可能 (ご本人からの意思表示を読み取ることができない)	174	32.1%	2,416	74.7%	1	50.0%
回答なし	1	0.2%	3	0.1%	1	50.0%
合計	542	100.0%	3,236	100.0%	2	100.0%

※ 割合は、地域移行の可能性【問13】の各区分の人数に占める割合です。

## 問20 地域移行に向けた取組の経験

あなたは、地域生活への移行に向けて、次のような取組を経験したことがありますか。（最大3つ選択）

地域移行に向けた取組の経験については、経験したことがある(472人、39.9%)が最も多く、次いで「経験したことがない」(375人、31.7%)、「わからない」(313人、26.4%)となっています。

経験した取組は、「地域生活で利用できるサービスについて、説明を受けたことがある」(179人、37.9%)が最も多く、次いで「施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞いたことがある」(179人、37.3%)、「施設以外の場所で宿泊体験をしたことがある」(157人、33.3%)となっています。

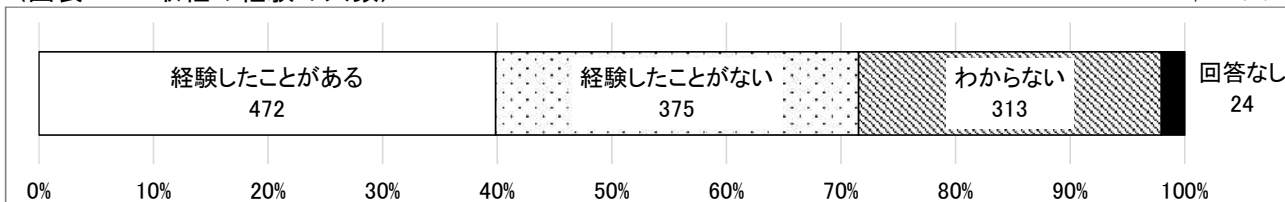
また、施設職員から見た地域生活への移行が「可能」な方は、経験したことがある割合が多くなっています。

(図表20-1: 取組の経験の人数と割合)

区分	人数	割合
経験したことがある	472	39.9%
経験したことがない	375	31.7%
わからない	313	26.4%
回答なし	24	2.0%
合計	1,184	100.0%

(図表20-2: 取組の経験の人数)

N=1,184人



(図表20-3: 経験した取組別の人数と割合【複数回答】)

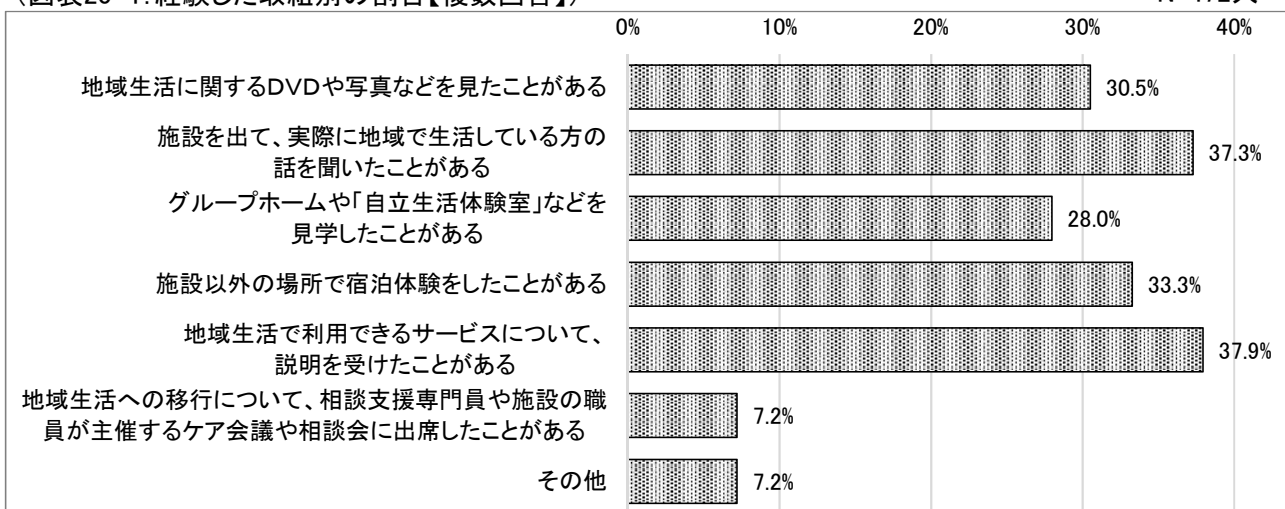
N=472人

区分	人数	割合
地域生活に関するDVDや写真などを見たことがある	144	30.5%
施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞いたことがある	176	37.3%
グループホームや「自立生活体験室」などを見学したことがある	132	28.0%
施設以外の場所で宿泊体験をしたことがある	157	33.3%
地域生活で利用できるサービスについて、説明を受けたことがある	179	37.9%
地域生活への移行について、相談支援専門員や施設の職員が主催するケア会議や相談会に出席したことがある	34	7.2%
その他	34	7.2%
合計	856	181.4%

※ 割合は、経験したことがあると回答した人数に占める割合です。

(図表20-4: 経験した取組別の割合【複数回答】)

N=472人



(図表20-5:地域生活移行の可能性【問13】×経験した取組の人数と割合【クロス集計】) N=1,184人

区分	可能		困難		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
経験したことがある	172	46.9%	324	39.7%	0	0.0%
経験したことがない	110	30.0%	265	32.4%	0	0.0%
わからない	85	23.2%	228	27.9%	0	0.0%
回答なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	367	100.0%	817	100.0%	0	0.0%

※ 割合は、回答があった人のうち、地域移行の可能性【問13】の各区分の人数に占める割合です。

問21 ご本人が希望する暮らし

あなたは、これから、どこで生活したいと思いますか？（1つだけ選択）

ご本人が希望する暮らしは、「今いる施設で生活していきたい」(661人、55.8%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「わからない」(215人、18.2%)、「違うところで生活していきたい」(187人、15.8%)となっています。

障害種別ごとにみると、「身体障害」の方は、「今いる施設で生活していきたい」の割合が多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「今いる施設で生活していきたい」の割合が多くなっています。

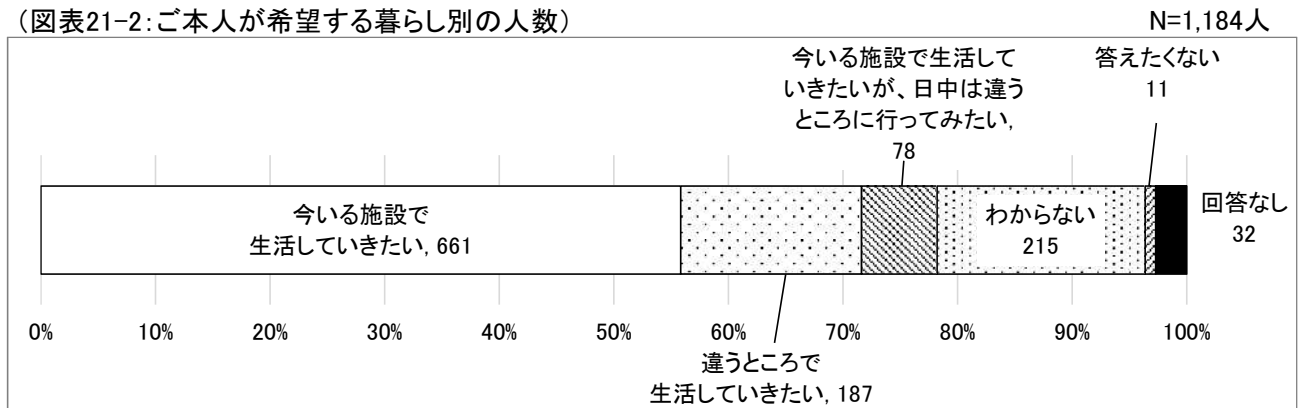
また、施設職員から見た地域生活への移行が「可能」な方は、「違うところで生活していきたい」の割合が多くなっています。

ご本人とご家族の意向を合わせてみると、ご本人が「今いる施設で生活していきたい」・ご家族が「施設での生活を希望している」方が(587人、49.6%)が最も多く全体の半数近くを占め、次いで、ご本人が「違うところで生活していきたい」・ご家族が「施設での生活を希望している」方が(147人、12.4%)となっています。この傾向は、施設職員から見た地域生活への移行が「可能」な方でも大きな変化はありません。

(図表21-1:ご本人が希望する暮らし別の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
今いる施設で生活していきたい	661	55.8%	64.1%
違うところで生活していきたい	187	15.8%	20.5%
今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところに行ってみたい	78	6.6%	—
わからない	215	18.2%	14.6%
答えたくない	11	0.9%	—
回答なし	32	2.7%	0.7%
合計	1,184	100.0%	100.0%

(図表21-2:ご本人が希望する暮らし別の人数)





(図表21-3: 主な障害種別【問6】×「今いる施設で生活していきたい」人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計	
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他							
身体障害	肢体不自由	人数	221	3	2	27	106	13		10	382	
		割合	36.4%	18.8%	20.0%	71.1%	18.1%	27.7%		55.6%		28.9%
	視覚障害	人数	3	13			7	1			24	
		割合	18.8%	56.5%			13.2%	100.0%				24.7%
	聴覚障害	人数	2		3		1				6	
		割合	20.0%		75.0%		2.2%					9.4%
	その他	人数	27			2	1				30	
		割合	71.1%			28.6%	2.4%					34.1%
知的障害		人数	106	7	1	1	221	8	8	2	354	
		割合	18.1%	13.2%	2.2%	2.4%	11.1%	19.0%	4.3%	16.7%		12.0%
精神障害		人数	13	1			8	5			27	
		割合	27.7%	100.0%			19.0%	25.0%				24.1%
発達障害		人数					8		5		13	
		割合					4.3%		19.2%			6.1%
難病		人数	10				2			2	14	
		割合	55.6%				16.7%			100.0%		43.8%
回答なし		人数									0	
		割合										-
合計		人数	382	24	6	30	354	27	13	14	661	
		割合	28.9%	24.7%	9.4%	34.1%	12.0%	24.1%	6.1%	43.8%		-

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表21-4: 主な障害種別【問6】×「違うところで生活していきたい」人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計	
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他							
身体障害	肢体不自由	人数	39	4	3		30	4			80	
		割合	6.4%	25.0%	30.0%		5.1%	8.5%				6.1%
	視覚障害	人数	4	1			3				8	
		割合	25.0%	4.3%			5.7%					8.2%
	聴覚障害	人数	3				1				4	
		割合	30.0%				2.2%					6.3%
	その他	人数				1	4				5	
		割合				14.3%	9.8%					5.7%
知的障害		人数	30	3	1	4	82	7	3		130	
		割合	5.1%	5.7%	2.2%	9.8%	4.1%	16.7%	1.6%			4.4%
精神障害		人数	4				7	4			15	
		割合	8.5%				16.7%	20.0%				13.4%
発達障害		人数					3		1		4	
		割合					1.6%		3.8%			1.9%
難病		人数									0	
		割合										0.0%
回答なし		人数									0	
		割合										-
合計		人数	80	8	4	5	130	15	4	0	187	
		割合	6.1%	8.2%	6.3%	5.7%	4.4%	13.4%	1.9%	0.0%		-

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表21-5: 主な障害種別【問6】×「わからない」人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害				知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	その他						
身体障害	肢体不自由	人数	59		1	29	7		2		98
		割合	9.7%		10.0%	4.9%	14.9%		11.1%		7.4%
	視覚障害	人数		1		5					6
		割合		4.3%		9.4%					6.2%
	聴覚障害	人数	1			3					4
		割合	10.0%			6.5%					6.3%
	その他	人数				1		1			2
		割合				14.3%		50.0%			2.3%
知的障害		人数	29	5	3	92	4	5	1		139
		割合	4.9%	9.4%	6.5%	4.6%	9.5%	2.7%	8.3%		4.7%
精神障害		人数	7		1	4	3				15
		割合	14.9%		50.0%	9.5%	15.0%				13.4%
発達障害		人数				5		1			6
		割合				2.7%		3.8%			2.8%
難病		人数	2			1					3
		割合	11.1%			8.3%					9.4%
回答なし		人数									0
		割合									-
合計		人数	98	6	4	2	139	15	6	3	215
		割合	7.4%	6.2%	6.3%	2.3%	4.7%	13.4%	2.8%	9.4%	-

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表21-6: 年齢別【問3】×ご本人が希望する暮らし別の人数と割合【クロス集計】)

区分		今いる施設で生活していきたい	違うところで生活していきたい	今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところに行ってみいたい	わからない	答えたくない	回答なし	計	
～19歳	人数							0	
	割合							-	
20歳～29歳	人数	14	10	3	2	1	1	31	
	割合	45.2%	32.3%	9.7%	6.5%	3.2%	3.2%	100.0%	
30歳～39歳	人数	30	12	6	12		2	62	
	割合	48.4%	19.4%	9.7%	19.4%		3.2%	100.0%	
40歳～49歳	人数	105	46	21	51	2	6	231	
	割合	45.5%	19.9%	9.1%	22.1%	0.9%	2.6%	100.0%	
50歳～59歳	人数	176	52	33	49	4	8	322	
	割合	54.7%	16.1%	10.2%	15.2%	1.2%	2.5%	100.0%	
60歳～69歳	人数	188	39	13	66	3	12	321	
	割合	58.6%	12.1%	4.0%	20.6%	0.9%	3.7%	100.0%	
70歳～79歳	人数	125	26	2	29	1	3	186	
	割合	67.2%	14.0%	1.1%	15.6%	0.5%	1.6%	100.0%	
80歳～	人数	23	2		6			31	
	割合	74.2%	6.5%		19.4%			100.0%	
合計		人数	661	187	78	215	11	32	1,184
		割合	55.8%	15.8%	6.6%	18.2%	0.9%	2.7%	100.0%

※ 割合は、年齢区分の人数に占める割合です。

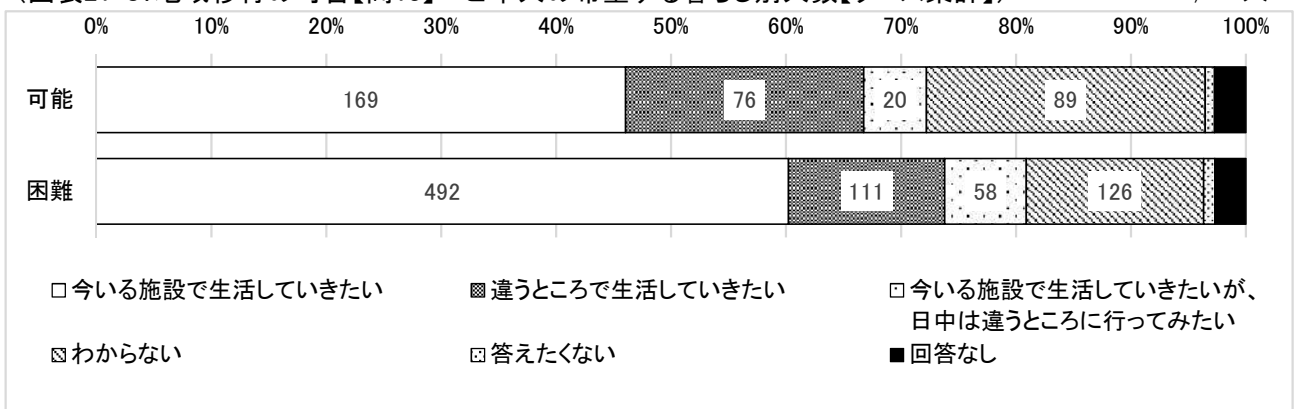
(図表21-7:地域移行の可否【問13】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】)

区分		可能	困難	回答なし	合計
今いる施設で生活していきたい	人数	169	492		661
	割合	46.0%	60.2%		55.8%
違うところで生活していきたい	人数	76	111		187
	割合	20.7%	13.6%		15.8%
今いる施設で生活していきたいが、 日中は違うところに行ってみたい	人数	20	58		78
	割合	5.4%	7.1%		6.6%
わからない	人数	89	126		215
	割合	24.3%	15.4%		18.2%
答えたくない	人数	3	8		11
	割合	0.8%	1.0%		0.9%
回答なし	人数	10	22		32
	割合	2.7%	2.7%		2.7%
合計	人数	367	817	0	1,184
	割合	100.0%	100.0%	-	100.0%

※ 割合は、各区分の合計に占める割合です。

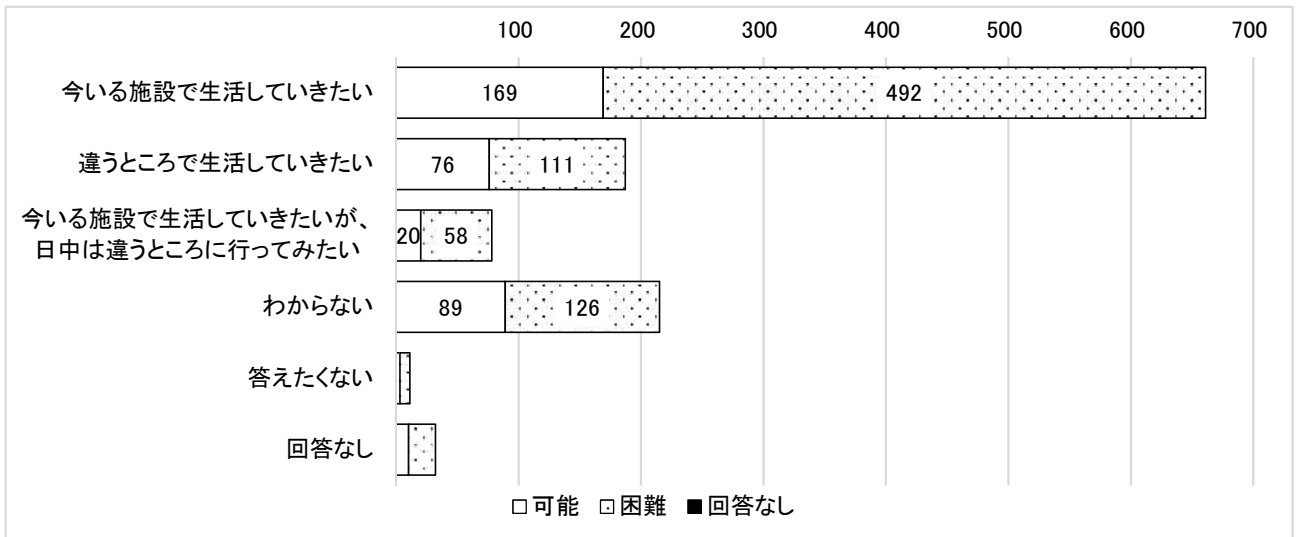
(図表21-8:地域移行の可否【問13】×ご本人の希望する暮らし別人数【クロス集計】)

N=1,184人



(図表21-9:地域移行の可否【問13】×ご本人の希望する暮らし別人数【クロス集計】)

N=0人

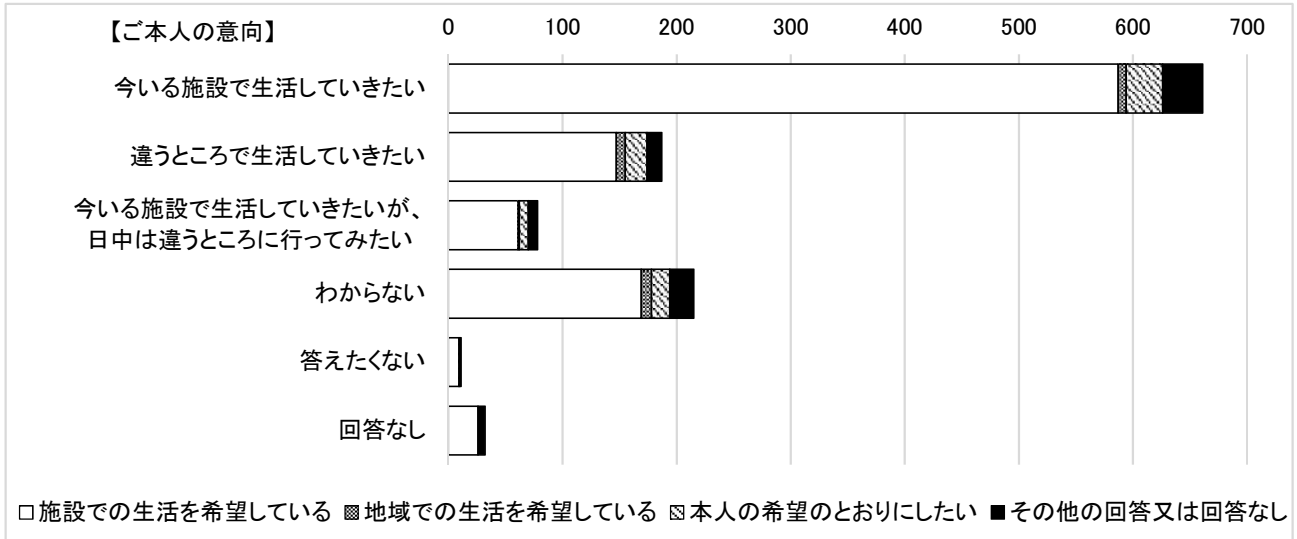


(図表21-10:ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】)

本人の意向	家族の意向	施設での生活を希望している	地域での生活を希望している	本人の希望のとおりになりたい	その他の回答又は回答なし	合計
		人数	割合	人数	割合	
今いる施設で生活していきたい	人数	587	7	32	35	661
	割合	49.6%	0.6%	2.7%	3.0%	55.8%
違うところで生活していきたい	人数	147	8	19	13	187
	割合	12.4%	0.7%	1.6%	1.1%	15.8%
今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところに行ってみたい	人数	61	1	8	8	78
	割合	5.2%	0.1%	0.7%	0.7%	6.6%
わからない	人数	169	9	16	21	215
	割合	14.3%	0.8%	1.4%	1.8%	18.2%
答えたくない	人数	9		1	1	11
	割合	0.8%		0.1%	0.1%	0.9%
回答なし	人数	26			6	32
	割合	2.2%			0.5%	2.7%
合計	人数	999	25	76	84	1,184
	割合	84.4%	2.1%	6.4%	7.1%	100.0%

(図表21-11:ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数【クロス集計】)

N=1,184人



(図表21-12: 地域移行が「可能」【問13】×ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】)

本人の意向		家族の意向	施設での生活を希望している	地域での生活を希望している	本人の希望のとおりにしたい	その他の回答又は回答なし	合計
			人数	割合	人数	割合	
今いる施設で生活していきたい	人数		138	5	11	15	169
	割合		37.6%	1.4%	3.0%	4.1%	46.0%
違うところで生活していきたい	人数		50	5	12	9	76
	割合		13.6%	1.4%	3.3%	2.5%	20.7%
今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところに行ってみたい	人数		14		2	4	20
	割合		3.8%		0.5%	1.1%	5.4%
わからない	人数		59	7	7	16	89
	割合		16.1%	1.9%	1.9%	4.4%	24.3%
答えたくない	人数		2			1	3
	割合		0.5%			0.3%	0.8%
回答なし	人数		6			4	10
	割合		1.6%			1.1%	2.7%
合計	人数		269	17	32	49	367
	割合		73.3%	4.6%	8.7%	13.4%	100.0%

(図表21-13: 地域移行が「可能」【問13】×ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】) N=367人



問22（問21関係）今いる施設で生活したい理由

「今いる施設で生活していきたい」のは、どうしてですか。（最大3つ選択）

「今いる施設で生活していきたい」理由は、「今いる施設が楽しい、安心だから」(407人、61.6%)が最も多く全体の6割以上を占め、次いで「他に生活する場所がないから」(169人、25.6%)となっています。

（図表22-1：施設での生活を希望する理由別の人数と割合【複数回答】）

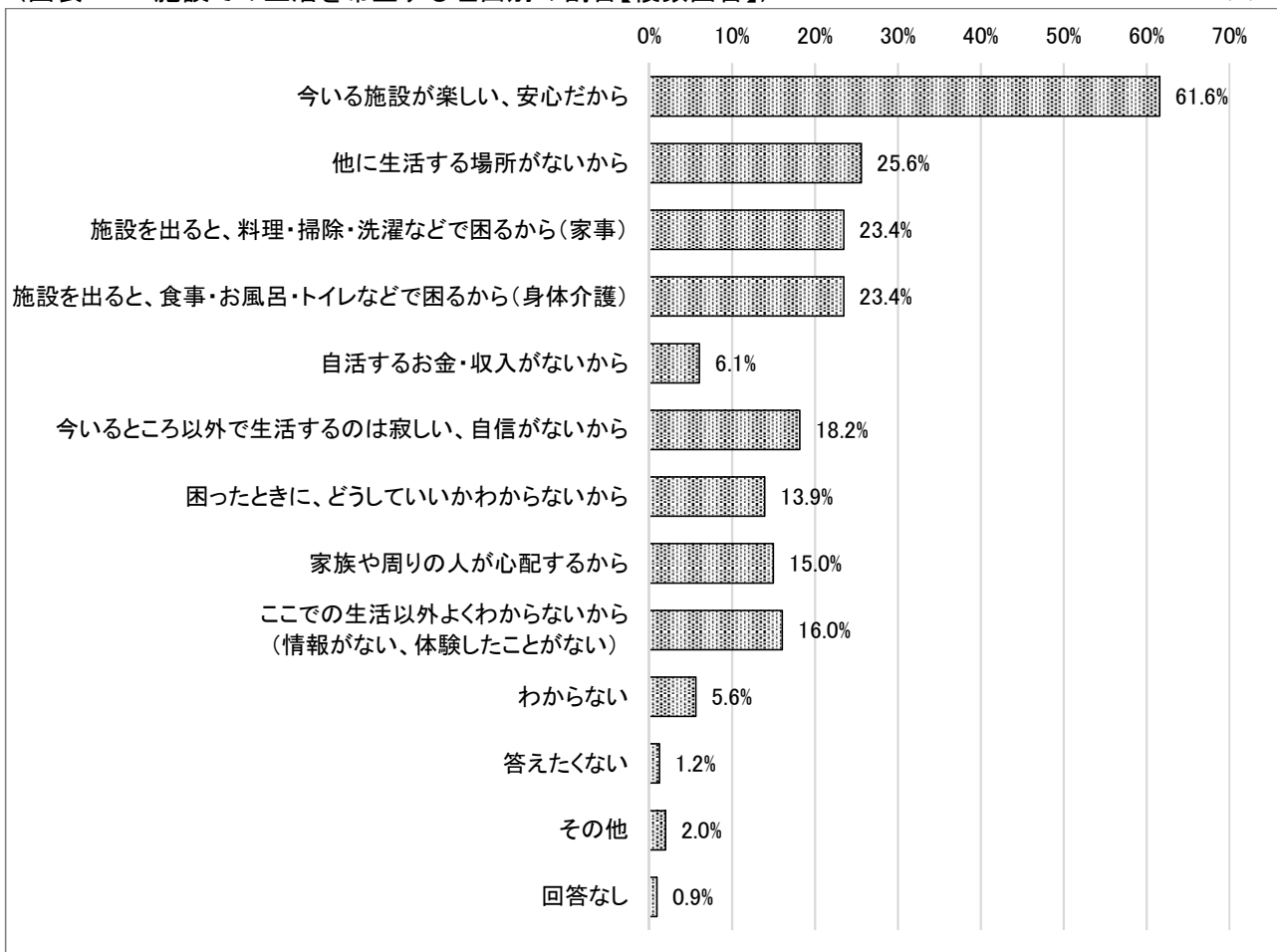
N=661人

区分	人数	割合
今いる施設が楽しい、安心だから	407	61.6%
他に生活する場所がないから	169	25.6%
施設を出ると、料理・掃除・洗濯などで困るから(家事)	155	23.4%
施設を出ると、食事・お風呂・トイレなどで困るから(身体介護)	155	23.4%
自活するお金・収入がないから	40	6.1%
今いるところ以外で生活するのは寂しい、自信がないから	120	18.2%
困ったときに、どうしていいかわからないから	92	13.9%
家族や周りの人が心配するから	99	15.0%
ここでの生活以外よくわからないから(情報が無い、体験したことがない)	106	16.0%
わからない	37	5.6%
答えたくない	8	1.2%
その他	13	2.0%
回答なし	6	0.9%
合計	1,407	212.9%

※ 割合は、「今いる施設で生活していきたい」と回答した方【問21】に占める割合です。

（図表22-2：施設での生活を希望する理由別の割合【複数回答】）

N=661人



問23 (問21関係)希望する暮らしの具体的な種類

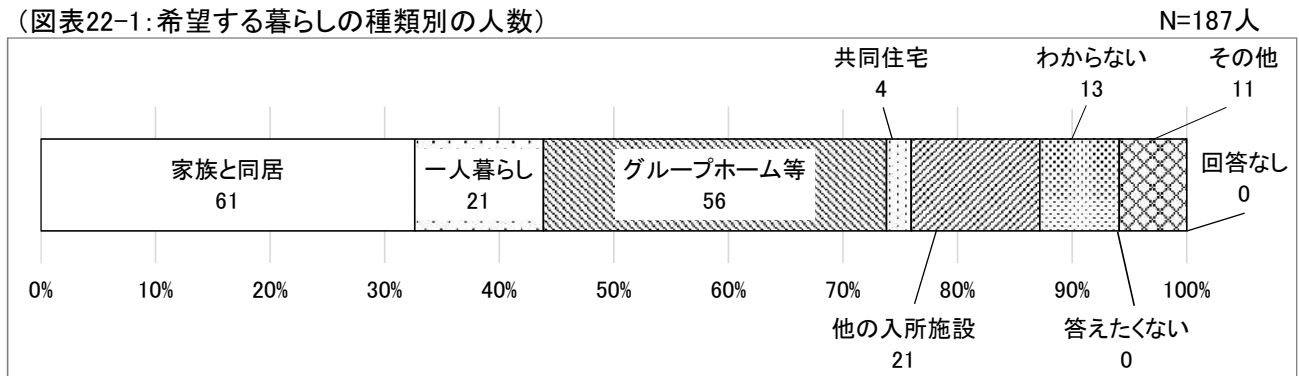
どこで生活していきたいとお考えですか。(1つ選択)

「違うところで生活していきたい」方が希望する生活場所は、「家族と同居」(61人、32.6%)が最も多く全体の3分の1近くを占め、次いで「支援を受けながら少人数で共同生活を行う住宅(障害者グループホームや福祉ホーム、認知症高齢者グループホームなど、障害者総合支援法又は介護保険法上の施設)」(56人、29.9%)となっています。

(図表22-1:希望する暮らしの種類別の人数と割合)

区分	人数	割合
家族と同居	61	32.6%
自宅やアパート、公営住宅などで一人暮らし	21	11.2%
支援を受けながら少人数で共同生活を行う住宅(障害者グループホームや福祉ホーム、認知症高齢者グループホームなど、障害者総合支援法又は介護保険法上の施設)	56	29.9%
支援を受けながら少人数で共同生活を行う住宅(サービス付き高齢者向け住宅やシェアハウスなど、障害者総合支援法又は介護保険法以外の施設)	4	2.1%
他の入所施設(障害者支援施設や特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等)	21	11.2%
わからない	13	7.0%
答えたくない	0	0.0%
その他	11	5.9%
回答なし	0	0.0%
合計	187	100.0%

(図表22-1:希望する暮らしの種類別の人数)



問24 (問21関係)希望する暮らしの具体的な地域

今いる施設から出たら、どの地域で生活したいと思いますか。(1つ選択)

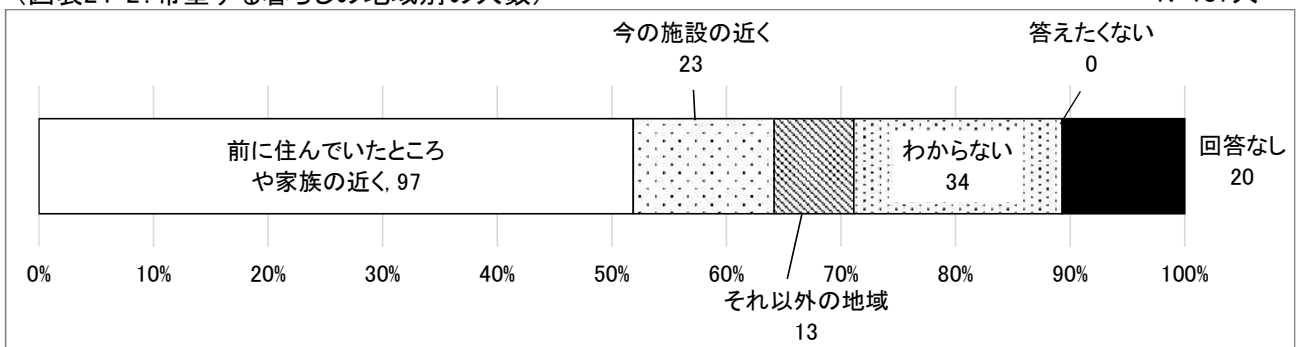
「違うところで生活していきたい」方が希望する地域は、「前に住んでいたところや家族の近く」(97人、51.9%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「わからない」(34人、18.2%)となっています。

(図表24-1:希望する暮らしの地域別の人数と割合)

区分	人数	割合
前に住んでいたところや家族の近く	97	51.9%
今の施設の近く	23	12.3%
それ以外の地域	13	7.0%
わからない	34	18.2%
答えたくない	0	0.0%
回答なし	20	10.7%
合計	187	100.0%

(図表24-2:希望する暮らしの地域別の人数)

N=187人





問25 (問21関係)希望する暮らしがわからない理由

これから、どこで生活したいのかわからないのは、どうしてですか。(1つ選択)

これからどこで生活したいのかが「わからない」理由は、「イメージがわからない(意味がわからない)」(132人、62.0%)が最も多く全体の6割以上を占め、次いで「ここでの生活以外よくわからない(情報が無い、体験したことが無い)」(32人、15.0%)、「具体的に考えたことが無い」(32人、15.0%)となっています。

(図表24-1:希望する暮らしがわからない理由別の人数と割合)

区分	人数	割合
ここでの生活以外よくわからない(情報が無い、体験したことが無い)	32	15.0%
具体的に考えたことが無い	32	15.0%
イメージがわからない(意味がわからない)	132	62.0%
答えたくない	14	6.6%
回答なし	3	1.4%
合計	213	100.0%

(図表24-2:希望する暮らしがわからない理由別の人数)

N=213人

